



プログラム

会期 2008年9月12日(金)～15日(月・祝)

会場 山口大学

事務局 山口大学理学部音響生物学研究室内

電話・ファックス 083-933-5723

日本哺乳類学会山口大会事務局

E-mail: MammYamaguchi2008@sci.yamaguchi-u.ac.jp

Web Site: <http://www.mammalogy.jp/msj2008/>

日本哺乳類学会2008年度大会 日程表

| | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 |
|----------|------|-------------------|-------|------------|--------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 9月12日(金) | | | | デジタル情報委員会 | 種名・標本校討委員会 | 和文誌編集委員会 | | | | | | | |
| | | | | レッドデータ作業部会 | シカ保護管理検討作業部会 | 英文誌編集委員会 | | | | | | | |
| | | | | 選考委員会 | 国際交流専門委員会 | | | | | 評議員会 | | | |
| | 本託休ク | クローク(11:30~20:00) | | | | | | | | | | | |

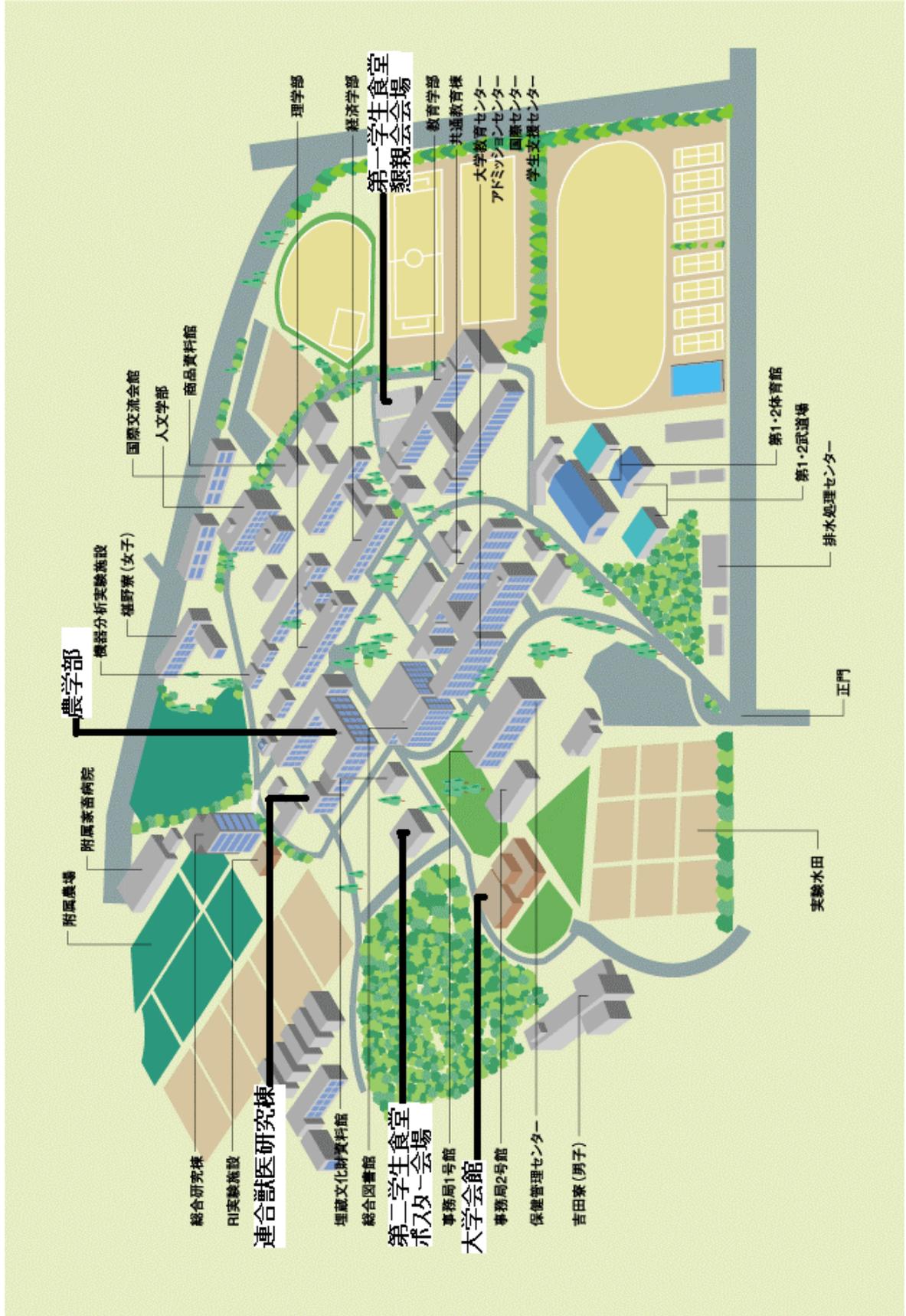
| | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 |
|----------|------|------------------|-------|-------|-------------------------------|-------|-------|---|-------|-------|---|-------|-------|
| 9月13日(土) | | | | | F1: 家畜の標本と種名 | | | F5: サンプリング・デザインとデータ解析 - 統計処理の苦手克服に向けて | | | F10: 「かたちの学校13」 | | |
| | | | | | F2: オキナワトゲネズミ再発見---トゲネズミ研究の最近 | | | F6: 西日本のリスとモモンガの分布と保全に関する研究交流会 | | | F11: 外来哺乳類対策の最前線 | | |
| | | | | | | | | F7: イノシシの管理の現状と最近の研究成果 | | | F12: ツキノワグマの土地利用と出没に関する研究 これまでの背景と、どこまでわかってきたのか | | |
| | | | | | F3: タヌキとキツネの多様性科学 | | | F8: "Mammal Study"に研究論文を発表するにはどうしたらよいか? | | | | | |
| | | | | | F4: ニホンザルの保護管理の現状と課題 | | | F9: 2010年生物多様性条約締約国会議と生物多様性基本法 | | | | | |
| | A | 口頭発表 | | | | | | | | | | | |
| | B | 口頭発表 | | | | | | | | | | | |
| | 本託休ク | クローク(9:00~20:00) | | | | | | | | | | | |
| | P | ポスター | コアタイム | | | | ポスター | | | | | | |

| | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 |
|----------|------|------------------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 9月14日(日) | A | 口頭発表 | | | | 総会 | 公開シンポジウム | | | | | | |
| | B | 口頭発表 | | | | | | | | | | | |
| | 本託休ク | クローク(9:00~20:00) | | | | | | | | | | | |
| | P | ポスター | コアタイム | | | | ポスター | | | | | | |
| | 懇 | | | | | | | 準備 | | | 懇親会 | | |

| | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 |
|----------|------|-----------------------------------|-------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 9月15日(月) | A | 企画シンポジウム | | | | | | | | | | | |
| | B | | F13: 増補版食虫類の自然史 8. ミズラモグラの生物学 最近の知見 | | | | | | | | | | |
| | 本託休ク | クローク(9:00~13:00) | | | | | | | | | | | |
| | P | ポスター | 撤収 | | | | | | | | | | |
| | 懇 | エクスカージョン(秋芳洞) エクスカージョン(ツキノワグマ) | | | | | | | | | | | |

- | | | | | | | | | | | |
|-----|--------|--------|----|-------|--|-----|---------|------|-----|---------|
| | 会議室 | 農学部 | 2F | 240 | | 講義室 | 農学部 | 2F | 213 | |
| | 会議室 | 連獣棟 | 4F | 連401 | | 講義室 | 農学部 | 2F | 214 | |
| | 会議室 | 大学会館 | 2F | セミナー室 | | 講義室 | 農学部 | 3F | 313 | |
| 本 : | 大会本部 | 大学会館 | 1F | 第1集会室 | | 講義室 | 農学部 | 3F | 314 | |
| 託 : | 託児室 | 大学会館 | 2F | 音楽鑑賞室 | | 講義室 | 農学部 | 3F | 315 | |
| 休 : | 休憩室 | 大学会館 | 2F | 第2集会室 | | | | | | |
| ク : | クローク | 大学会館 | 2F | 和室 | | A : | 口頭発表会場A | 大学会館 | 1F | 大学会館ホール |
| P : | ポスター会場 | 第2学生食堂 | 1F | ホール | | B : | 口頭発表会場B | 大学会館 | 2F | 会議室 |
| 懇 : | 懇親会場 | 第1学生食堂 | 1F | ホール | | | | | | |

キャンパスマップ(会場案内)

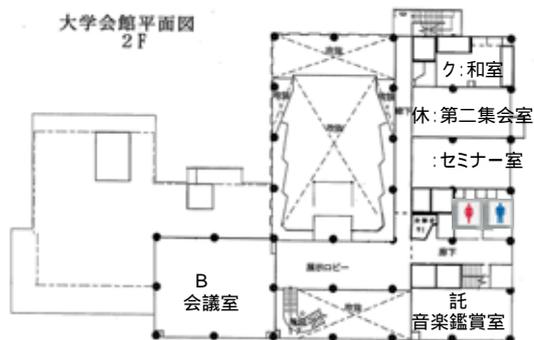


大学会館

大学会館平面図
1F



大学会館平面図
2F



農学部



- : 会議室
- : 会議室
- : 会議室
- 本: 大会本部
- 託: 託児室
- 休: 休憩室
- ク: クローク
- P: ポスター会場
- 懇: 懇親会場
- 農学部 2F 240
- 連獣棟 4F 連401
- 学生会館 2F セミナー室
- 学生会館 1F 第1集会室
- 学生会館 2F 音楽鑑賞室
- 学生会館 2F 第2集会室
- 学生会館 2F 和室
- 第2学生食堂 1F ホール
- 第1学生食堂 1F ホール

- : 講義室
- 農学部 2F 213
- 農学部 2F 214
- 農学部 3F 313
- 農学部 3F 314
- 農学部 3F 315
- A: 口頭発表会場A 学生会館 1F 大学会館ホール
- B: 口頭発表会場B 学生会館 2F 会議室

- 男子手洗
- 女子手洗
- 喫煙所

大会参加者へのご案内

1. 会場および受付

- a. 9月12日は11:30、13~15日は9:00より大学会館1F玄関ロビーにて登録受付を行います。参加申し込み済みの方は、講演要旨集・名札などをお受け取り下さい。当日申し込みの方は、参加費等をお支払い下さい。
- b. 大会会場では必ず名札をご着用下さい。着用のない場合はスタッフが確認させていただくこともあります。懇親会参加者の名札には参加マークがつけてありますので、懇親会会場でも忘れずに着用してください。
- c. クロークは、大学会館 - 和室に設置します。9月12日は11:30より、13~15日は9:00より受け付け、9月12~13日は20:00に、14日は17:30に、15日は13:00に閉鎖します。

2. 口頭発表される方へ

- a. 一般講演の発表時間は質疑応答を含めて14分30秒です。時間の延長は一切認めません。各演者は講演開始前に会場に待機下さい。自由集会の発表時間は世話人の指示に従ってください。
- b. 各演者は次演題の座長を務めていただきます。講演終了後、座長席に着いて、速やかに会を進行させてください。なお、最初の演題は、大会会場係がつとめます。
- c. 当日の発表用パワーポイント・ファイルの差し替え、修正はできません。また、持ち込みノートパソコンとの接続はお断りします。
- d. 会場では液晶プロジェクターおよびOHPが使用できますが、スクリーンは1つですので、同時に2つの機器は使用できません。

3. ポスター発表される方へ

- a. 大会期間中にポスターの差し替えはありません。各発表者につき、縦180cm、横90cmの展示パネルを準備します。ポスター会場(第2学生食堂「きらら」)には、ポスター貼付に必要な画鋏と演題番号を事務局で準備します。
- b. 掲示作業は9月13日10:00から11:00の間に実施してください。撤去は9月15日11:30~13:00に行ってください。
- c. 9月13日、14日11:30~13:00に、ポスター発表の集中時間帯を設けています。ポスター発表者はこの時間帯は、常時待機してください。
- d. 最上段に発表演題・発表者氏名と所属を横書きして下さい。発表者の顔写真をなるべく入れてください。
- e. 標本・別刷・資料・宣伝物などをポスターの前に置く台(椅子など)を希望され

る方は、会場係まで申し出てください。

- f. ポスター賞に応募したポスターの中で優れたポスターには、日本哺乳類学会よりポスター賞が贈られます。ポスター賞に応募したポスターは、プログラムの題名の前に*がついています。ポスター賞の審査は、哺乳類学会が指名した審査員が行います。ポスター賞受賞者は、9月14日の懇親会会場で発表を行います。

4. 各種委員会に参加される方へ

各種委員会は下記の時間で、すべて9月12日(金)に行います。

| | | |
|--------------|-------------|-----|
| 外来動物対策作業部会 | 12:00~14:00 | 休憩室 |
| デジタル情報委員会 | 12:00~14:00 | 会場 |
| レッドデータ作業部会 | 12:00~14:00 | 会場 |
| 選考委員会 | 12:00~14:00 | 会場 |
| クマ保護管理検討作業部会 | 14:00~16:00 | 休憩室 |
| 種名・標本検討委員会 | 14:00~16:00 | 会場 |
| シカ保護管理検討作業部会 | 14:00~16:00 | 会場 |
| 国際交流専門委員会 | 14:00~16:00 | 会場 |
| 保護管理専門委員会 | 16:00~17:30 | 休憩室 |
| 和文誌編集委員会 | 16:00~17:30 | 会場 |
| 英文誌編集委員会 | 16:00~17:30 | 会場 |
| 評議員会 | 18:00~20:00 | 会場 |

5. 懇親会に参加される方へ

- a. 9月14日(日)18:00~20:30に第一学生食堂で開催します。

6. エクスカーションに参加される方へ

大会HPに掲載されているエクスカーション情報に従って手続きをお願いします

7. アクセス

キャンパス内の駐車スペースは限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

8. 託児室

業者委託による託児室を開設します。利用は予約制で、予約のない時間帯は閉鎖します。当日、お子様が病気の場合は、原則としてお預かりできません。予約された方でキャンセルされる場合は、早目に大会事務局へ連絡ください。予約なしでの当日の利用は、保育担当者に余裕がない場合はお受けできません。

9. その他

- a. 総会は9月14日13:00より14:30まで大学会館ホールで開催します。その後、14:30から17:30まで同会場で公開シンポジウムを開催します。
- b. 学内には持ち込みパソコンから学内LANに接続できる場所はありません。
- c. 学内は原則禁煙です。喫煙は所定の場所をお願いいたします。
- d. 学内の食堂は、9月12日のみ営業しており、9月13、14、15日は、営業していません。9月13、14、15日は昼食時に、第二学生食堂「きらら」にて弁当の販売を予定しています。しかし、数に限りがありますので、品切れした場合はご容赦下さい。
- e. ご不明な点は、大会開始前は大会事務局へ、大会期間中は大会本部、受付またはお近くの会場係にお尋ね下さい。
- f. 自由集会は自主運営になりますので、世話人の方を中心に機材の持ち込み（プロジェクターは用意してあります）・準備、会場の準備、進行、機材操作および後片付けをしてください。
- g. 会場での呼び出しはできませんので、休憩室に設置された伝言板をご利用下さい。
- h. 資源節約のため、休憩室の紙コップは名前を書いて繰り返し利用されるか、できればコップをご持参下さい。
- i. 大会期間中に、下記の大会記念グッズの販売を行う予定ですので、ご利用下さい。

2008年度大会記念Tシャツ



各種サイズを揃える予定です。

参加の記念に、ご購入下さい。

数量限定です！！

(若干のデザインの変更はあります。)

13:00 ~ 14:30

総会

14:30 ~ 17:30

公開シンポジウム

「秋吉台鍾乳洞に眠る新生代の哺乳類化石」

S1 秋吉台の鍾乳洞とその成立年代 - 厚東川の下刻速度の推定から -
元北九州市立自然史・歴史博物館 藤井厚志

S2 秋吉台の鍾乳洞や裂隙堆積物から発見された哺乳類化石から見た第四紀の哺乳動物相
群馬県立自然史博物館長 長谷川善和

S3 秋吉台を中心とした西日本と近隣の大陸の第四紀哺乳動物相の関連
愛知教育大学教授 河村善也

9:00 ~ 12:00

企画シンポジウム

「音声コミュニケーションからみる動物の社会」

S4 ニホンジカは音声で何を伝えているか？

ワイルドライフコミュニティ研究所 南正人

S5 ニホンザルの音声コミュニケーション

京都大学野生動物研究センター 杉浦秀樹

S6 イルカの音声コミュニケーションとその制約要因

京都大学野生動物研究センター・日本学術振興会 森阪匡通

S7 コウモリの音声コミュニケーション

山口大学理工学研究科 松村澄子, 秋吉台科学博物館 石田(山崎)麻里

- 会場
13:00 ~ 15:00 F1 **家畜の標本と種名**
世話人: 織田銑一(名古屋大学・院・生命農学)
- 会場
13:00 ~ 15:00 F2 **オキナワトゲネズミ再発見---トゲネズミ研究の最近**
世話人: 山田文雄(森林総研・関西)・鈴木仁(北大・院・地球環境)
- 会場
13:00 ~ 15:00 F3 **タヌキとキツネの多様性科学**
世話人: 増田隆一(北海道大学)
- 会場
13:00 ~ 15:30 F4 **ニホンザルの保護管理の現状と課題**
世話人: 大井徹(森林総合研究所関西支所)・吉田洋(山梨県環境研究センター)・室山泰之(兵庫県森林動物研究センター)
- 会場
15:30 ~ 17:30 F5 **サンプリング・デザインとデータ解析 ~ 統計処理の苦手克服に向けて**
世話人: 清田雅史(遠洋水研)・佐伯緑(中央農研)
- 会場
15:30 ~ 17:30 F6 **西日本のリスとモモンガの分布と保全に関する研究交流会**
世話人: 安田雅俊(森林総研九州, myasuda@affrc.go.jp)・田中浩(山口博物館)
- 会場
15:30 ~ 17:30 F7 **イノシシの管理の現状と最近の研究成果**
世話人: 平田滋樹(鳥取県)・小寺祐二(長崎県)
- 会場
15:30 ~ 17:30 F8 **“Mammal Study”に研究論文を発表するにはどうしたらよいか?**
世話人: 増田隆一(北海道大学)
- 会場
16:00 ~ 18:00 F9 **2010年生物多様性条約締約国会議と生物多様性基本法**
世話人: 草刈秀紀(WWFジャパン)
- 会場
18:00 ~ 20:00 F10 **「かたちの学校13」**
世話人: 遠藤秀紀(東京大学総合研究博物館)
- 会場
18:00 ~ 20:00 F11 **外来哺乳類対策の最前線**
世話人: 池田透(北大・文・地域システム)・山田文雄(森林総研・関西)・小倉剛(琉球大・農・亜熱帯動物)
- 会場
18:00 ~ 20:00 F12 **ツキノワグマの土地利用と出没に関する研究 これまでの背景と、どこまでわかってきたのか**
世話人: 山崎晃司(茨城県自然博物館)・小池伸介(東京農工大)

B会場

10:00 ~ 12:00 F13

増補版食虫類の自然史8. ミズラモグラの生物学 最近の知見

世話人: 川田伸一郎(国立科学博物館・動物)・横畑泰志(富山大学・理工・生物圏環境科学)

A会場

- 9:30 13A1 兵庫県に生息するニホンザルの環境選択と土地利用
遠藤美香¹, 鈴木克哉², 室山泰之²(兵庫県立大学環境人間学研究科¹, 兵庫県立大学自然・環境科学研究所/兵庫県森林動物研究センター²)
- 9:45 13A2 ニホンザルにおける交尾パタンの地域変異
中川尚史¹, 杉浦秀樹², 松原幹³, 早川祥子³, 藤田志歩⁴, 鈴木滋⁵, 下岡ゆき子⁶, 西川真理¹(京大・理¹, 京大・野生動物², 京大・霊長研³, 山口大・農⁴, 龍谷大・国際文化⁵, 帝科大・生命環境⁶)
- 10:00 13A3 Vaginal implant transmitterを用いたエゾシカの出産検知の試み
松浦友紀子¹, 伊吾田宏正², 柳川洋二郎³, 高橋裕史⁴, 鈴木正嗣⁵(北海道大学FSC¹, 酪農学園大学², 北海道大学獣医³, 森林総研⁴, 岐阜大学⁵)
- 10:15 13A4 牧草地におけるシカ糞塊密度の測定: ベルトランセクト法と距離密度法の比較
塚田英晴¹, 深澤 充¹, 小迫孝実¹, 中村義男², 花房泰子²(農研機構・畜草研¹, 農研機構・動衛研²)
- 10:30 13A5 エゾシカの植生指標を用いた相対密度の検討
宇野裕之¹, 宮木雅美¹, 明石信廣², 南野一博², 梶 光一³(北海道環境科学研究センター¹, 北海道立林業試験場², 東京農工大学³)
- 10:45 13A6 密度、積雪、人間による捕獲がニホンジカ個体群の増加率に与える影響 - コホート解析による復元生息数を用いた個体群動態解析
上野真由美¹, 梶光一², 齊藤隆³(北海道大学・院・農¹, 東京農工大・共生科学², 北海道大学FSC³)
- 11:00 13A7 霧島・えびの高原周辺における交尾期のオスジカの分布
矢部恒晶¹, 松隈聖子², 吉山桂代³, 岩船昌起⁴(森林総研・九州¹, 宮崎大・院・農学(現:(株)アステムフォレスト)², 熊本大・院・自然科学(現:松本外科病院)³, 志学館大・人間関係学⁴)
- 11:15 13A8 2004年台風18号風倒地のニホンジカ: 千歳国有林周辺の分布
高橋裕史(森林総研関西)
- 11:30 13A9 植林地防鹿ネットによるニホンカモシカ錯誤捕獲の事例
遠藤晃¹, 馬場稔², 河野淳一³, 土肥昭夫⁴(佐賀大・農・特定研究員¹, 北九州市立自然史・歴史博², 大分県³, 長崎大・院・生産科学⁴)
- 11:45 13A10 エゾジカの交通事故地点の拡大に関する季節的な傾向
野呂美紗子^{1,2}, 鹿野たか嶺¹, 原文宏¹, 萩原亨²((社)北海道開発技術センター¹, 北海道大学大学院工学研究科²)

B会場

- 9:30 13B1 日本列島におけるヒメヒナコウモリ *Vespertilio murinus* Linnaeus, 1758の発見
河合久仁子¹, 福井大², 佐藤雅彦³, 原田正史⁴, 前田喜四雄⁵(国立科学博物館¹, 森林総研・北海道², 利尻町立博物館³, 大阪市立大学大学院医学研究科⁴, 奈良教育大 自然環境教育センター⁵)
- 9:45 13B2 北海道産小型コウモリ類における捕獲前後の音声の比較
谷崎美由記¹, 石塚正仁², 矢野幹也², 東谷和徳², 柳川久³((株)ドーコン¹, (株)セ・プラン², 帯広畜産大学³)
- 10:00 13B3 波照間島のカグラコウモリ *Hipposideros turips turips*
Lazaro M. Echenique-Diaz¹, 河合久仁子², Kyle Armstrong³, 田村常雄⁴, Katerina Tsysulina⁵, Vitaly Matveev⁵(東北大学生命科学¹, 国立科学博物館², The University of Adelaide, Australia³, 東洋蝙蝠研究所⁴, Russian Bat Research Group⁵)
- 10:15 13B4 屈斜路カルデラ(アトサヌプリ地区)のコウモリ相
近藤憲久¹, 佐々木尚子²(根室市歴史と自然の資料館¹, 北海道コウモリ研究グループ²)
- 10:30 13B5 ミトコンドリアDNAおよび核遺伝子配列からみたコウベモグラ *Mogera wogura* の遺伝的構造
桐原 崇¹, 篠原 明男², 土屋 公幸³, 原田 正史⁴, Alexei P. Kryukov⁵, 鈴木 仁¹(北大 院 環境科学¹, 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター², (株)応用生物³, 大阪市立大学院医学研究科⁴, Institute of Biology and Soil Science, Russian Academy of Sciences⁵)
- 10:45 13B6 生薬抽出残渣を含んだ堆肥によるアズマモグラへの忌避効果の検証
吉村一輝¹, 横畑泰志², 倉家直哉³(富山大・教育・人間環境、現(株)日比谷花壇¹, 富山大院・理工学², (株)吉城コンボ³)
- 11:00 13B7 瀬戸内海の島々のアカネズミの形態変化
高田靖司¹, 植松康¹, 立石隆², 酒井英一³(愛知学院大・歯・解剖¹, 藤沢市², 愛知学院大・短期大学部³)
- 11:15 13B8 周辺島嶼におけるアカネズミの頭骨形態の分化
新宅勇太¹, 本川稚治²(京大・院理・動物¹, 京大・総博²)
- 11:30 13B9 沖縄島で捕獲により再発見された絶滅危惧種オキナワトゲネズミ *Tokudaia muenninki*
山田文雄¹, 河内紀浩², 三宅雄士³, 福地壮太³, 七里浩志³, 阿部慎太郎³, 小高信彦¹, 黒岩麻里⁴(森林総研¹, 島嶼生物研², 環境省那覇³, 大創成機構⁴)
- 11:45 13B10 幻の九州産ニホンリスの生息地を求めて
安田雅俊(森林総研九州)

A会場

- 9:00 14A1 飼育イノシシの最大・最小摂食量の把握 - 農・畜産業被害防止に向けた取り組み -
竹内正彦¹, 上田弘則², 井上雅央²((独)農研機構・中央農研・鳥獣害¹, (独)農研機構・近中四農研・鳥獣害²)
- 9:15 14A2 保全管理施策の実施過程データを用いたツキノワグマの自然増加率と個体数の推定
坂田宏志¹, 横山真弓¹, 森光由樹¹, 片山敦司²(兵庫県立大学¹, 野性動物保護管理事務所²)
- 9:30 14A3 学習放獣後のツキノワグマの行動パターンと行動圏の特徴
横山真弓¹, 森光由樹¹, 齋田栄里奈², 江藤公俊², 米澤里美²(兵庫県立大学/森林動物研究センター¹, 兵庫県森林動物研究センター²)
- 9:45 14A4 ツキノワグマの学習放獣後の移動状況と学習放獣の効果
西信介
- 10:00 14A5 2006年大量出沒時の秋に広島県で有害捕獲されたツキノワグマの栄養状態と食性履歴
大井徹¹, 大西尚樹¹, 古澤仁美²(森林総研関西¹, 森林総研²)
- 10:15 14A6 クマによる被害農作物から加害個体の情報を探る
齊藤正恵¹, 山内貴義², 青井俊樹³(岩手大学大学院 連合農学研究科¹, 岩手県環境保健研究センター², 岩手大学 農学部³)
- 10:30 14A7 捕獲者の報告によるメスヒグマの連れていた子数の検討
間野 勉¹, 釣賀 一二三²(北海道環境科学研究センター¹, 北海道環境科学研究センター²)
- 10:45 14A8 ハンドウイルカ *Tursiops truncatus* の頭骨における大きさに伴う形状の変化
栗原 望¹, 織田 銃一²(科博・動物¹, 名大・院・生命農²)
- 11:00 14A9 北海道雄冬岬に来遊するトドの糞分析による食性解析
後藤陽子¹, 服部薫², 高山琢馬³, 磯野岳臣², 桜井泰憲³, 丸山秀佳¹, 山村織生²(釧路水試¹, 北水研², 北大院水³)
- 11:15 14A10 大阪湾におけるスナメリの分布と密度
神田育子¹, 近藤茂則¹, 石田義成¹, 鍋島靖信²(OCA¹, 大阪環農水総研²)
- 11:30 14A11 北海道日本海におけるトドの来遊頭数推定
服部薫, 磯野岳臣, 山村織生(水研セ北水研)
- 11:45 14A12 鯨類と超高速船との衝突回避に向けた基礎的研究(1) - 航路上の衝突危険鯨種の特定 -
社方健太郎¹, 小田川絢^{1,2}, 山田裕子¹, 松永隼太¹, 加藤秀弘¹(東京海洋大 鯨類研¹, ダイソーコーポレーション²)

B会場

- 9:00 14B1 水位調整によるヌートリア管理の試み
立澤史郎¹, 小林勝志², 鈴木康良³(北大・文・地域¹, 里山獣類研究所², 加西市生活環境部³)
- 9:15 14B2 奄美大島のノヤギ問題 - 生息状況とインパクトについて -
巨 悠哉^{1,2}, 永江直志¹, 山下亮^{1,3}, 高槻義隆¹, 南雲聡³, 前園泰徳^{1,4}(奄美哺乳類研究会¹, 森林総研², 奄美マングースバスターズ³, 京大農⁴)
- 9:30 14B3 栃木県奥日光地域におけるホンダヌキの行動圏サイズとその配置
關 義和¹, 小金澤正昭²(東京農工大学・院・連合農学¹, 宇都宮大学農学部付属演習林²)
- 9:45 14B4 ニホンアナグマの生息適地推定モデル
金子弥生¹, 佐藤伸彦²(ヤマザキ動物看護短期大学¹, (財)日本生態系協会²)
- 10:00 14B5 テンの糞を用いた個体数および生息域の推定
○足立高行¹, 荒井秋晴², 桑原佳子¹, 田悟和巳³, 松村 弘³, 中村匡聡³(応用生態研¹, 九歯大・総合教育², いであ株式会社³)
- 10:15 14B6 ニホンカワウソの絶滅過程と新聞報道における扱われ方
安藤元一, 山本佳代子, 小川 博, 天野 卓(東農大・農・野生動物)
- 10:30 14B7 福岡県背振山地五ヶ山におけるニホンイタチの生息状況
佐々木浩¹, 関口猛², 渡辺茂樹³, 栗原淑子², 森山大吾⁴, 黒瀬奈緒子⁵, 松木吏弓⁶, 佐伯緑⁷(筑女大短大部¹, 九大医院², 成安造形大³, 国際航業⁴, 神奈川大理⁵, 電中研⁶, 中農総研センター⁷)
- 10:45 14B8 ニホンイタチ、シベリアイタチ、ニホンテンの種判定と性判定
関口猛¹, 佐々木浩², 栗原淑子¹, 渡辺茂樹³, 森山大吾⁴, 黒瀬奈緒子⁵, 松木吏弓⁶, 佐伯緑⁷(九大医院¹, 筑女大短大部², 成安造形大³, 国際航業⁴, 神奈川大理⁵, 電中研⁶, 中農総研センター⁷)
- 11:00 14B9 5つの核遺伝子エクソン領域を用いた齧脚類とレッサーパンダの系統解析
佐藤淳¹, Mieczysław Wolsan²(福山大学 生物工学科¹, Museum and Institute of Zoology, Polish Academy of Sciences²)
- 11:15 14B10 グリソン類(イタチ科)の化石記録を用いた分類学的検討
荻野慎太郎(京大・霊長研)
- 11:30 14B11 哺乳類の歯の形態形成様式 - 比較解剖学的及び発生学的観点から -
小澤幸重¹, 大島勇人², 鄭翰聖³(日大松戸歯 第 解剖¹, 新潟大院 医歯学総合 硬組織形態学², 延世大 歯大 発生生物解剖学³)

会場:第2学生食堂

- P1 * 北海道十勝地方の農耕域におけるキタクビウコウモリの採餌環境
石井健太, 柳川久(帯広畜産大学・野生動物管理学研究室)
- P2 同所的に生息する食虫性コウモリ3種の食性と機能形質
福井大¹, 岡崎克則², 前田喜四雄³ (森林総研北海道・学振PD¹, 倶知安町風土館², 奈良教育大学³)
- P3 * 長野県佐久市におけるキクガシラコウモリ *Rhinolophus ferrumequinum* の捕食昆虫
辻明子¹, 小柳恭二² (コウモリの会¹, NPO東洋蝙蝠研究所²)
- P4 * 森林植生と流路の有無が森林棲コウモリ類の捕獲個体数に与える影響
吉倉智子¹, 上條隆志², 安井さち子³ (筑波大学大学院生命環境科学研究科^{1,2}, 茨城県つくば市³)
- P5 コテングコウモリのねぐら選択 - 森林空間内における階層的な雌雄分離
平川浩文(森林総研北海道)
- P6 ヒメホオヒゲコウモリとカグヤコウモリのねぐらの特徴と分布
出羽寛¹, 清水省吾¹, 川端雄人¹, 杉本拓郎², 山口哲³, 米田匡宏⁴, 浜田真央¹
(旭川大学¹, 沖縄大学², 旭川大学・現(株)キュートソフィアコンサルティング³, 旭川大学・現(株)セノン⁴)
- P7 * 東京都におけるアブラコウモリ (*Pipistrellus abramus*) の分布様式の解明
安藤陽子¹, 神崎伸夫² (東京農工大学院・連農・野生動物保護¹, 東京農工大・農・野生動物保護²)
- P8 * キクガシラコウモリの小飼育集団におけるプライベート周波数の変化
○赤木麻衣子, 松村澄子(山口大・院・理工学)
- P9 * オキナワコキクガシラコウモリのエコーロケーションコールに関する島内地域集団間変異はどのように維持されているのか?
吉野元¹, Kyle Armstrong², 伊澤雅子³, 横山潤⁴, 河田雅圭¹ (東北大・院・生命科学¹, 京大・博², 琉大・理³, 山形大・理⁴)
- P10 * オリオオコウモリの繁殖スケジュールと子育て行動
佐藤亜希子¹, 中本敦¹, 伊澤雅子¹, 金城和三² (琉球大・理¹, 冲国大・法²)
- P11 * オリオオコウモリ *Pteropus dasymallus inopinatus* による昆虫類の摂食事例
中本敦¹, 佐藤亜希子¹, 金城和三², 伊澤雅子¹ (琉球大・理¹, 冲国大・法²)

会場:第2学生食堂

- P12 哺乳類の歯根の分化と発達の型
小澤幸重¹,大島勇人²,鄭翰聖³(日大松戸歯 第 解剖¹,新潟大院 医歯学総合 硬組織形態学²,延世大 歯大 発生生物解剖学³)
- P13 * アカネズミにおける大白歯の変異幅について
松田佳樹,岩佐真宏(日本大学大学院 生物資源科学研究科 生物環境科学専攻)
- P14 タツアカネズミ、ハントウアカネズミとオオミモリアカネズミの識別と前2者の小地域内の共存
金子之史
- P15 * 予備エネルギー量がアカネズミの日内休眠に及ぼす影響
江藤毅¹,高橋俊浩²,森田哲夫²(宮崎大・院・農¹,宮崎大・農²)
- P16 * マイクロサテライトマーカーを用いたアカネズミ島嶼集団の遺伝解析
友澤 森彦¹,鈴木 仁²,土屋 公幸³(北大・院・環境科学¹,北大 院 地球環境²,(株)応用生物³)
- P17 * アカネズミにおけるダイオキシン受容体(AhR)の多型とその機能評価 - バイオマーカーを用いたダイオキシン汚染影響評価を目指して -
石庭寛子¹,石原可奈²,田阪健²,須谷真巳²,星信彦²,横山俊史²,安元研一³,十川和博³,関島恒夫¹(新潟大院・自然科学¹,神戸大院・農²,東北大院・生命科学³)
- P18 多摩川河川敷におけるネズミ類の種組成に関する研究
黒田貴綱¹,柴沼裕樹²,勝野武彦²(日大・生物資源・富士自然教育センター¹,日大・生物資源・造園緑地学²)
- P19 日本産野生ハツカネズミの系統地理学的研究へのSNPsの活用
白田大輝¹,吉川欣亮²,森脇和郎³,鈴木仁¹(北大 院 環境科学¹,東農大 生物産業²,RIKEN BRC³)
- P20 * 市街地に棲息する野生ハツカネズミの毛色変異
鈴木太一,岩佐真宏(日大・生物資源)
- P21 * 同居個体の存在がヒメネズミの日内休眠に及ぼす影響
大久保慶信¹,高橋俊浩²,森田哲夫²(宮崎大・院・農工¹,宮崎大・農²)

会場:第2学生食堂

- P22 * カワネズミ *Chimarrogale platycephala* 調査における自動撮影法と捕獲法の比較
藤本竜輔, 佐戸鈴之助, 小川博, 天野卓, 安藤元一(東農大 農 野生動物)
- P23 * 神奈川県下におけるカワネズミの棲息環境について
河原田友理, 米谷大平, 岩佐真宏(日大・生物資源)
- P24 * 愛知県設楽町産ドブネズミの飼育繁殖集団における形態学的特徴
井上聡子, 城ヶ原貴通, 森部絢嗣, 織田銑一(名大・院・生命農学)
- P25 * Mc1r遺伝子の変異に基づく日本産クマネズミの遺伝的背景の解析
神戸嘉一¹, 谷川力², 矢部辰男³, 前園泰徳⁴, 石田健⁵, 土屋公幸⁶, 鈴木荘介⁷, 松本泰治⁸, Ken P. Aplin⁹, 鈴木仁¹⁰(北大・理¹, (株)イカリ消毒², ラットコントロール³, 京大・農⁴, 東大・農⁵, (株)応用生物⁶, 日本食品検査協会⁷, 小樽検疫所⁸, オーストラリアCSIRO⁹, 北大・院地球環境¹⁰)
- P26 小笠原諸島東島にすむクマネズミの胃内容物に見いだされた海鳥
矢部辰男¹, 橋本琢磨², 滝口正明², 青木正成², 川上和人³(ラットコントロール¹, 自然研², 森林総研³)
- P27 * ジャコウネズミの移入と分布に関する古記録の検討
山崎 健¹, 織田銑一²(奈良文化財研究所¹, 名大・院・生命農学・動物生産第1²)
- P28 ヒロバネズミ(ネズミ科ネズミ亜科)の咀嚼筋にみられる草食性適応
～ハタネズミ類の形態適応様式との相違～
佐藤 和彦¹, Ken P. Aplin², 小萱 康德¹, 久保 金弥¹, 江尻 貞一¹(朝日大・歯・口腔解剖¹, 豪州連邦科学産業研究機構²)
- P29 * トリトンハムスターの繊維消化における前胃・盲腸の役割
石川恭子¹, 上野俊介², 高橋俊浩¹, 森田哲夫¹(宮崎大・農¹, 宮崎大・院・農²)
- P30 * スククスにおける歯の大きさの変異性と歯の欠如による影響
城ヶ原貴通^{1,3}, 子安和弘^{2,3}, 花村肇^{2,3}, 河合達志^{2,3}, 織田 銑一¹(名大・院・生命農学¹, 愛院大・歯², 愛院大・口先研³)
- P31 * ミャンマー中部のイラワジ層(後期中新世)から産出したヤマアラシ化石(予報)
西岡佑一郎¹, ジン・マウン・マウン・ティン¹, 高井正成¹, 伊藤 毅¹, タウンタイ²(京大・霊長研¹, シュエボ大²)
- P32 * 静岡県伊東市および神奈川県小田原市におけるマンシュウハリネズミの分布
安藤元一¹, 石井信夫², 小松恵子¹, 桜木隆志¹, 堀真理子¹, 鉄谷龍之¹, 小川博¹, 天野卓¹(東農大・農・野生動物¹, 東京女子大²)

会場:第2学生食堂

- P33 マダガスカル西部乾燥林における哺乳類調査
伊藤 亮(京大・理・動物行動)
- P34 * 繁殖中の雌のエゾモンガによって利用された樹洞
浅利裕伸¹, 原口壘華², 柳川久²((株)長大¹, 帯畜大 野生動物管理学²)
- P35 * 北海道十勝地方の防風保安林におけるエゾモンガの空間利用
東城里絵¹, 浅利裕伸², 柳川久¹(帯広畜産大学野生動物管理学研究室¹, 株式会社 長大²)
- P36 * 授乳中のエゾモンガの移動と行動圏
原口壘華¹, 浅利裕伸², 柳川久¹(帯広畜産大学野生動物管理学研究室¹, 株式会社 長大²)
- P37 * 北海道におけるキタリス(エゾリス)の系統地理学的研究
野田麻衣子¹, 押田龍夫¹, Alexei Abramov², 市川秀雄³, 増田隆一⁴(帯畜大 野生動物管理学¹, Zoological Institute Russian Academy of Science², 北大 北方圏フィールド科学センター³, 北大 創成研⁴)
- P38 動物に利用される樹洞のモニタリング
岩崎雄輔(福島県野生動物研究会)
- P39 ニホンヤマネ *Glirulus japonicus* の好適な微小生息環境
中村夢奈¹, 小城伸晃¹, 玉手英利²(山形大学理工学研究科¹, 山形大学理学部²)
- P40 * マイクロサテライトを用いたニホンヤマネの配偶システムと巣箱共有個体の血縁関係解析
安田俊平¹, 岩淵真奈美², 中山文², 湊秋作², 鈴木仁¹(北大 院 地球環境 生態遺伝¹, KEEPやまねミュージアム²)
- P41 ニホンヤマネ *Glirulus japonicus* の食性とその季節変化
岩淵 真奈美¹, 杉山 慎二², 湊 ちせ³, 若林 千賀子⁴, 湊 秋作¹(キープやまねミュージアム¹, (有)ウッズ², ニホンヤマネ保護研究グループ³, 若林環境教育事務所⁴)
- P42 樹上動物のためのアニマルパスウェイに関する研究と実績
饗場葉留果¹, 岩淵真奈美¹, 岩本和明², 大竹公一³, 岡田美穂³, 小田信治², 小松裕幸², 佐藤良晴⁴, 世知原順子⁴, 若林千賀子⁵, 湊秋作¹(キープやまねミュージアム¹, 清水建設(株)², 大成建設(株)³, (有)エンウィット⁴, 若林環境教育事務所⁵)

会場:第2学生食堂

- P43 * 小型樹上性齧歯類を対象とした生息確認法の開発
鈴木圭¹, 永井靖弘², 谷口絵梨¹, 岡本英里奈¹, 広瀬絵美¹, 小川博¹, 天野卓¹, 安藤元一¹(東農大 農 野生動物¹, いであ株式会社²)
- P44 * 神奈川県藤沢市周辺におけるタイワンリスの分布
長谷川啓太¹, 佐藤喜和², 田村典子³(日大・院・生物資源・森林動物¹, 日大・生物資源・森林動物², 森林総合研究所³)
- P45 * ベトナムの亜熱帯林における樹上性小型哺乳動物を対象とした巣箱調査
加藤アミ¹, 押田龍夫¹, Son Nguyen Truong², Nghia Nguyen Xuan², Hao Van Luong³, 遠藤秀紀⁴(帯畜大・野生動物¹, Institute of Ecology and Biological Resources, Vietnamese Academy of Science and Technology², Cuc Phuong National Park³, 東京大学総合研究博物館⁴)
- P46 * 環境影響評価書にみる岡山県の哺乳動物相
横山 貴史¹, 小林 秀司², 矢吹 章³(岡山理科大¹, 岡山理科大², ツキノワグマ研究グループ³)
- P47 * コウベモグラの活動・体温の概日リズムと光周期への同調
茂木邦人¹, 櫻村敦², 篠原明男³, 土屋公幸⁴, 高橋俊浩⁵, 森田哲夫⁵(宮崎大院 農¹, 宮崎大院 農工², 宮崎大 フロンティア科学実験総合センター³, (株)応用生物⁴, 宮崎大 農⁵)
- P48 * 牧草地におけるコウベモグラの行動圏の変動
櫻村敦¹, 茂木邦人², 篠原明男³, 土屋公幸⁴, 高橋俊浩⁵, 森田哲夫⁵(宮崎大院 農工¹, 宮崎大院 農², 宮崎大 フロンティア科学実験総合センター³, (株)応用生物⁴, 宮崎大 農⁵)
- P49 * マイクロサテライトマーカーを用いたアズマモグラの性特異的な分散の検出
村田知慧¹, 玉手英利²(北大院・生命科学院¹, 山形大・理・生物²)
- P50 * ヒメコミミトガリネズミの飼育法と繁殖成績
三輪七瀬¹, 城ヶ原貴通^{1,4}, 子安和弘^{2,4}, Orin B. Mock³, 河合達志^{2,4}, 花村肇^{2,4}, 織田銃一¹(名大院・生命農学¹, 愛院大・歯², KCOM³, 愛院大・口先端研⁴)
- P51 * シントウトガリネズミ *Sorex shinto* 3亜種間の核型分析
森部絢嗣¹, 野呂達哉², 小林秀司³, 織田銃一¹(名大院・生命農学・動物生産科学第1¹, 中京女子大・人文², 岡山理大・理・動物³)
- P52 * 北海道に生息するチビトガリネズミの食性
南波興之, 大館智氏(北海道大学低温科学研究所)

会場:第2学生食堂

- P53 * ヒミズにおける尾の季節変異と齢変異
白井 浩一郎, 岩佐 真宏(日大・生物資源)
- P54 ベトナム北部の低標高地で捕獲された小型のモグラについて
川田伸一郎¹, Nguyen Truong Son², Dang Ngoc Can²(国立科学博物館・動物¹, ベトナム科学技術院²)
- P55 * 糞DNA解析を用いたノウサギの餌植物推定とその季節変化
松木吏弓¹, 阿部聖哉¹, 西村麻利子², 竹内亨¹, 関島恒夫³, 梨本真¹(電力中央研究所¹, 東邦大学理², 新潟大学自然科学³)
- P56 * 第四紀の複数のレフュージアがニホンノウサギの遺伝的多様性に与えた影響についての系統地理学的解析
布目三夫¹, 鳥居春巳², 山田文雄³, 土屋公幸⁴, 鈴木仁¹(北大 院 環境科学¹, 奈良教育大学自然環境教育センター², 森林総合研究所³, (株)応用生物⁴)
- P57 * 列状間伐地におけるノウサギの環境選択: イヌワシの採餌環境再生を目指して
石間妙子, 関島恒夫(新潟大・自然科学)
- P58 沖縄島やんばる地域におけるマングース根絶のためのマングース探索犬の導入
山口貴子¹, 宇久田弘美², 福原亮史¹, Sugoto Roy³, 田中順一¹, 小倉剛⁴(南西環境研¹, 沖縄県西原町², Central Science Laboratory, United Kingdom³, 琉球大農亜熱帯動物⁴)
- P59 * マングースにおけるPara- Aminopropiophenoneの混餌投与毒性予備試験
小倉剛¹, 中田勝士¹, Charles T.Eason², Sugoto Roy³, Elaine C.Murphy⁴, 平野昂規¹(琉球大・農・亜熱帯動物学¹, Lincoln University, Bio-Protection and Ecology Division (NZ)², Central Science Laboratory, Wildlife Ecology and Management(UK)³, Department of Conservation(NZ)⁴)
- P60 * ジャワマングースを効果的に誘引する物質の探索
柳田悠江¹, 藤田耕作², 小倉剛², 平野昂規¹, 石橋治², 砂川勝徳²(琉球大学大学院農学研究科生産環境学専攻¹, 琉球大学農学部生産環境学科²)
- P61 * ジャワマングースだけが利用できるベイトボックスの開発～4種類の試作ベイトボックスに対するマングースの行動～
平野昂規, 小倉剛, 中田勝士, 石橋治, 砂川勝徳, 柳田悠江(琉大農・亜熱帯)
- P62 * Comparative study on the stomach contents of two wild cats in Japan
Juan Jose Diaz Sacco, 中西希, 寺西あゆみ, 荒木大輔, 伊澤雅子(琉球大学理学部)

会場:第2学生食堂

- P63 * 絶滅危惧種ツシマヤマネコの生息状況に対する人為的環境改変の影響
荒木大輔¹, 中西希¹, 伊澤雅子¹, 土肥昭夫²(琉球大学理学部¹, 長崎大学環境科学部²)
- P64 * 自動撮影装置を用いたツシマヤマネコの尾根部利用様式
寺西あゆみ¹, 土肥昭夫², 伊澤雅子¹(琉球大・理¹, 長崎大・環境²)
- P65 * 自動撮影装置を用いたイリオモテヤマネコ生息状況の地域間比較
梅村和志, 中西希, 伊澤雅子, 林野庁沖縄森林管理署(琉球大学理学部)
- P66 齢査定から明らかになったイリオモテヤマネコの生活史
中西希, 一ノ瀬文絵, 伊澤雅子(琉球大学理学部)
- P67 * ネコ科およびイヌ科における四肢骨格筋の進化形態学的特質について
上開地広美¹, 小藪大輔², 大石元治³, 樽 創⁴, 遠藤 秀紀²(東京農業大院・農・野生動物¹, 東京大学総合研究博物館², 麻布大・解剖一³, 神奈川県立生命の星・地球博物館⁴)
- P68 * 岐阜県産タヌキの地域集団にみられる頭骨形態の変異
浅原正和¹, 遠藤秀紀², 本川雅治³(京大 院理¹, 東大 総博², 京大 総博³)
- P69 * 皇居におけるタヌキの行動圏の季節変化(予報)
酒向貴子¹, 川田伸一郎², 手塚牧人³(宮内庁¹, 国立科学博物館・動物², フィールドワークオフィス³)
- P70 * 母系遺伝するミトコンドリアDNAと父系遺伝子SRYによるアナグマの系統地理
田島沙羅¹, 金子弥生², Alexei Abramov³, 増田隆一⁴(北大・院理・自然史¹, ヤマザキ動物看護短大², ロシア科学アカデミー³, 北大・創成研⁴)
- P71 * 北海道キタキツネのマイクロサテライト解析
大石琢也¹, 浦口宏二², 増田隆一^{1,3}(北大・院理・自然史¹, 道立衛生研², 北大・創成³)
- P72 * 自動撮影法における誘引餌の効果および小型哺乳類の検出率
鈴木一聡, 小川博, 天野卓, 安藤元一(東京農大 農 野生動物)
- P73 高知県における哺乳類の特定および要注意外来生物確認状況
谷地森秀二(四国自然史科学研究センター)
- P74 島根県における外来哺乳類の現況 - ニートリア、アライグマおよびハクビシンの分布と捕獲 -
金森弘樹, 澤田誠吾, 竹下幸広(島根県中山間地域研究センター)

会場:第2学生食堂

- P75 * ハクビシン (*Paguma larvata*) における年齢査定手法の検討
加藤卓也^{1,2}, 鄭和美^{1,2}, 和田康祐², 濱本健三², 宇野太基², 羽山伸一²(日獣大 臨床繁殖¹, 日獣大 野生動物教育研究機構²)
- P76 * アライグマMHC遺伝子のクローニングと多型解析
高田雄三¹, 徳富智明¹, 今井利夫², 金武 潤¹(防衛医大・法医学¹, 東邦大・理²)
- P77 * アライグマの分子系統学的研究
徳富智明, 高田雄三, 村山学子, 金武潤(防医大・法医)
- P78 徳島県鳴門市におけるアライグマの食性
金城芳典, 谷地森秀二(四国自然史科学研究センター)
- P79 和歌山県のアライグマ地域集団と分散の性差
鈴木和男, 高田雄三(田辺市ふるさと自然公園センター, 防衛医大・法医学)
- P80 * 神奈川県におけるアライグマが他の中型哺乳類の生息に及ぼす影響
安藤元一, 前山直子, 佐野拓也, 太田季絵, 井口正樹, 岩下明生, 小川博, 天野卓(東農大 農 野生動物)
- P81 千葉県における外来生物:アライグマの生息状況
矢竹一穂¹, 和田毅¹, 古川淳¹, 三浦貴弘², 疋田大輔², 落合啓二³, 浅野玄⁴, 篠原栄里子⁵((株)セレス¹, (財)自然環境研究センター², 千葉県立中央博物館³, 岐阜大・応用生物科学・野性動物医学⁴, 千葉県環境生活部自然保護課⁵)
- P82 * 捕獲偏重型のアライグマ対策から派生する新たな課題
阿部豪(北大・院・文・地域システム)
- P83 * 釧路湿原に分布するアメリカミンクの糞DNA分析による個体識別
嶋谷ゆかり¹, 竹下毅², 立澤史郎², 池田透², 増田隆一^{1,3}(北大・院理¹, 北大・院文², 北大・創成研^{1,3})
- P84 長野県における外来生物アメリカミンクの個体群構造
福江佑子¹, 葦田恵美子², 岸元良輔³(ワイルドライフコミュニティ研究所¹, 熊本市国府², 長野県環境保全研究所³)
- P85 * 栃木県奥日光に生息するノイヌの食性分析
大谷道生, 小金澤正昭(宇都宮大学)
- P86 * 中型食肉目の食性解析
黒瀬奈緒子(神奈川大・理・生物科学)

会場:第2学生食堂

- P87 * 福井平野の孤立丘陵に生息する哺乳類
内藤由香子¹, 石田惣²(福井市自然史博物館¹, 大阪市立自然史博物館²)
- P88 知床国立公園内の森林再生事業地周辺におけるエゾクロテンの生息環境利用
村上隆広(斜里町立知床博物館)
- P89 夜な夜な徘徊するあいつに持ってほしいケータイ: 動物調査における位置情報システムの利用
佐伯緑¹, 斎藤昌幸², 園田陽一³(中央農研¹, 中央農研・横国大², 国総研³)
- P90 * テンの歯数異常について
平田逸俊¹, 細田徹治², 天野雅男¹(帝科大¹, 耐久高校²)
- P91 * 核及びミトコンドリアDNAにおけるニホンテンの遺伝的多様性
細田徹治¹, 佐藤淳²(和歌山県立耐久高等学校¹, 福山大学 生物工学科²)
- P92 * 島嶼におけるシベリアイタチの頭骨形態の変異
鈴木聡¹, 本川雅治²(京大・院理・動物¹, 京大・総博²)
- P93 * ニホンザルの子どもがよく近接するのはどのようなオトナのオスカ
松岡絵里子(京都大学霊長類研究所)
- P94 * ニホンザル (*Macaca fuscata*) の泊まり場選択に影響する要因
辻大和(京都大学霊長類研究所)
- P95 * 積雪期の足跡カウントによるニホンザルの個体数・生息分布の推定
江成広斗¹, 坂牧はるか²(京都大霊長研・社会生態¹, 岩手大学大学院・連合農学²)
- P96 * 農作物被害を起こすニホンザルの林縁利用
山田彩¹, 室山泰之²(京都大・霊長類研究所¹, 兵庫県立大・森林動物研究センター²)
- P97 * 冷温帯林における冬期のニホンザル野生群の森林利用～森林施業地における生息地保全を目的として～
坂牧はるか¹, 江成広斗², 青井俊樹³(岩手大学大学院連合農学研究科¹, 京都大学霊長類研究所², 岩手大学農学部共生環境課程³)
- P98 アラビア半島のマントヒヒ集団における、Y染色体上のSTR遺伝子多型について
山根明弘¹, 庄武孝義², 森明雄², 杉浦秀樹³, Ahmed Boug⁴, 岩本俊孝⁵(北九州市立自然史・歴史博物館¹, 京都大学霊長類研究所², 京都大学野性動物研究センター³, National Wildlife Research Center(Kingdom of Saudi Arabia)⁴, 宮崎大学教育文化学部⁵)

会場:第2学生食堂

- P99 * コロブス亜科霊長類の顔面頭蓋における形態的多様性と食性適応:三次元形態測定学的解析
小藪大輔¹, 遠藤秀紀²(東京大院・理・日本学術振興会¹, 東京大・総合研究博物館²)
- P100 霊長類足骨格のCT画像解析
佐々木基樹¹, 遠藤秀紀², 大石元治³, 山田一孝⁴, 北村延夫¹(帯広大 獣医解剖¹, 東大 博物館², 麻布大 解剖第一³, 帯広大 獣医臨床放射線⁴)
- P101 マイクロサテライト解析からみたスマトラ産フクロテナガザル *Symphalangus syndactylus* の遺伝的組成
早野あづさ¹, Dyah Perwitasari-Farajallah², Hery Wjayanto³, 宮部貴子⁴, Alan Mootnick⁵, Diah Iskandariati², Joko Pamungkas², 平井啓久⁴(京大・理・動物¹, Bogor Agricultural Univ.², Univ. Gadjah Mada³, 京大・霊研⁴, Gibbon Conserv. Centr.⁵)
- P102 ボルネオ島サバ州における塩場とオランウータンの分布の相関性
松林尚志¹, 若松伸彦¹, 中園悦子¹, Lagan P.², Sukor J.R.A.³, 武生雅明¹(東京農大地域¹, Sabah Forestry Department², Sabah Wildlife Department³)
- P103 長崎県五島列島にみられるニホンジカの新たな染色体変異集団
原田 正史¹, ○安藤 彰朗²(大阪市立大・医学研究科¹, 島根県立大・短大部²)
- P104 * ニホンジカ(*Cervus nippon*)精巣における性ステロイドホルモンの合成とそのレセプター発現の季節変化
早川大輔^{1,2}, 佐々木基樹^{1,2}, 鈴木正嗣³, 伊吾田宏正⁴, 坪田敏男⁵, 梶光一⁶, 秦寛⁷, 近藤誠司⁷, 宮本明夫⁸, 北村延夫^{1,2}(帯広大 獣医解剖¹, 岐阜大 院連合獣医², 岐阜大 野生動物³, 酪農大 生命環境⁴, 北大 院獣医生態⁵, 東京農工大 野性動物保護⁶, 北大 FSC⁷, 帯広大 院畜産衛生⁸)
- P105 シカ生息密度既知の大規模実験柵における糞粒法の適用
堀野眞一(森林総合研究所・東北支所)
- P106 * 冬季における野生ニホンジカの食性と解剖学的特性に及ぼす牧草地利用の影響
亀井利活¹, 竹田謙一², 泉山茂之², 神勝紀², 大島浩二²(信州大・院・総合工学系研究科¹, 信州大学農学部²)
- P107 長野県中部の山地におけるニホンジカの土地利用実態
岡田充弘¹, 小山泰弘¹, 遠山育², 亀井利活², 竹田謙一², 山内仁人¹(長野県林総セ¹, 信州大農²)

会場:第2学生食堂

- P108 長野県霧ヶ峰におけるニホンジカのライトセンサス調査
岸元良輔¹, 三井健一², 須賀聡², 逢沢浩明², 吉岡麻美² (長野県環境保全研究所¹, 長野県霧ヶ峰自然保護センター²)
- P109 兵庫県におけるニホンジカによる広葉樹林下層植生への影響
岸本康誉¹, 藤木大介², 坂田宏志² (兵庫県森林動物研究セ¹, 兵庫県立大²)
- P110 カメラでシカを数える -自動撮影によるエゾシカ撮影頻度は生息密度指標値として利用可能か-
車田利夫¹, 稲富佳洋¹, 富沢昌章², 釣賀一二三¹, 明石信廣³, 南野一博³, 平川浩文⁴ (北海道環境科学研究センター¹, 北海道日高支庁², 北海道立林業試験場³, 森林総研北海道⁴)
- P111 カメラトラップ法によるニホンジカの個体数推定における給塩の影響
小金澤正昭¹, 樫木めぐみ², 猪俣須恵² (宇都宮大学・農・演習林¹, 宇都宮大学・農・野生鳥獣²)
- P112 * ミトコンドリアDNA分析による尾瀬のニホンジカの越冬地解明
名取美貴, 福井えみ子, 堀井美那, 松本浩道, 吉澤緑, 小金澤正昭 (宇都宮大学農学部)
- P113 兵庫県淡路島に生息するニホンジカ孤立個体群の質的評価
齋田栄里奈¹, 森光由樹², 米澤里美¹, 横山真弓² (兵庫県森林動物研究センター¹, 兵庫県立大/兵庫県森林動物研究センター²)
- P114 シカによるスギ・ヒノキ若齢・壮齢木の樹皮食害発生時期と被害痕の特徴
佐野明 (三重県林業研究所)
- P115 ニホンジカのメスは交尾相手の社会ランクを選ぶか
樋口尚子¹, 大西信正², 南正人³ (大阪市大¹, 生態計画研究所², ワイルドライフコミュニティ研究所³)
- P116 東京都水道水源林におけるニホンジカの行動特性(予報)
溝口暁子¹, 姜兆文¹, 山根慎次², 羽澄俊裕¹, 岡野美佐夫¹, 青木恵治² (野生動物保護管理事務所¹, 東京都水道局²)
- P117 * 妊娠初期のエゾシカにおける胎齢推定方法の検討
柳川洋二郎¹, 松浦友紀子², 鈴木正嗣³, 片桐成二¹, 高橋芳幸¹, 佐賀真一⁴, 奥山英登⁴, 福井大祐⁴, 坂東元⁴, 坪田敏男¹ (北大獣医¹, 北大FSC², 岐阜大応用生物³, 旭山動物園⁴)

会場:第2学生食堂

- P118 * 北海道におけるエゾシカの列車事故の現状と傾向
鹿野たか嶺, 野呂美紗子, 原文宏((社)北海道開発技術センター)
- P119 シカの密度を下げれば植生は回復するか?
明石信廣(北海道立林業試験場)
- P120 * 北海道とスコットランドのシカの過増加を防止する手段としての狩猟の問題点
Edward Dyson¹, 車田利夫², 宇野裕之², 玉田克己², 齊藤隆¹(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター¹, 北海道環境科学研究センター²)
- P121 * 剥製標本からのDNA解析とそのデータベース化に関する取り組み
栗原望¹, 川田伸一郎¹, 山田格¹, 田島木綿子¹, 長岡浩子¹, 小郷智子¹, Randy Harris²(科博・動物¹, W. T. Yoshimoto Foundation²)
- P122 * 札幌市円山動物園の新施設「エゾシカ・オオカミ舎」
井上剛^{1,2}, 桑原康生^{1,3}, 向井猛⁴, 上野浩⁴, 弓山良⁴(JWA¹, 円山zoo市民会議委員², Howlin'Ks NS³, 円山動物園⁴)
- P123 日本における野生動物の属地的保護管理の在り方
高柳敦(京大院・農)
- P124 * 屋久島に生息するニホンジカの形態的特徴
寺田千里¹, 立澤史郎², 齊藤隆³(北大・環境科学院¹, 北大・文・地域システム², 北大・北方生物圏フィールド科学センター³)
- P125 * 分解率はもういらない!? 糞塊を用いた簡易で高精度なシカ密度推定法の提案
幸田良介¹, 辻野亮², 藤田昇¹(京大・生態研¹, 地球研²)
- P126 * 千葉県におけるイノシシによる水稻被害リスクの推定-被害地点のみのデータの活用-
斎藤昌幸^{1,2}, 百瀬浩¹, 植松清次³(中央農業総合研究センター¹, 横国大・環境情報², 千葉農林総合研究センター暖地園芸研究所³)
- P127 寒地型牧草地での草地更新とイノシシによる採食被害
上田弘則, 高橋佳孝, 井上雅央(近中四農研)
- P128 兵庫県淡路島に生息している野生イノシシとイノブタの交雑状況
森光由樹¹, 横山真弓¹, 齋田栄里奈²(兵庫県大¹, 兵庫県森林動物研究センター²)
- P129 * 新たに開発した多獣種対応型侵入防止柵の効果検証
本田剛¹, 宮川芳樹¹, 上田弘則², 井上雅央²(山梨県総農技セ¹, 近中四農研センター²)

会場:第2学生食堂

- P130 岐阜県におけるカモシカ捕獲個体の年齢構成および個体数変動
八代田千鶴¹, 三浦貴弘², 常田邦彦², 鈴木正嗣^{1,3}(岐阜大院連獣¹, 自然研², 岐阜大応生³)
- P131 * DNAが裏づける四国産ニホンカモシカの独自性
奥村栄朗¹, 中西安男²(森林総研・四国支所¹, わんぱーくこうちアニマルランド²)
- P132 岐阜県におけるツキノワグマのヘアトラップ調査とその課題
近藤麻実¹, 松井一², 山内貴義³, 斉藤正恵⁴, 八代田千鶴⁵, 山崎翔気⁵, 徳永佳三⁶, 浅野玄^{5,6}, 鈴木正嗣^{5,6}(岐阜大・農・獣医¹, (株)帝国建設コンサルタント², 岩手県環境保健研究センター³, 岩手大・院・連合農学⁴, 岐阜大・院・連合獣医⁵, 岐阜大・応用生物科学・獣医⁶)
- P133 * 四国におけるツキノワグマ生息地評価のための食物
伊藤徹¹, 金澤文吾², 草刈秀紀³, 石川慎吾¹(高知大・院¹, 四国自然史科学研究センター², WWFジャパン³)
- P134 * 鳥取県におけるツキノワグマの胃内容物分析
小池伸介¹, 小坂井千夏², 中島亜美³, 根本唯³, 西信介⁴(東京農工大¹, 東京農工大院連農², 東京農工大院³, 鳥取県⁴)
- P135 ツキノワグマ(*Ursus thibetanus*)の新たな体毛回収装置の開発
山内貴義¹, 斉藤正恵², 小山田智彰¹(岩手県環境保健研究センター¹, 岩手大学大学院連合農学研究科²)
- P136 * 人里付近に生息するツキノワグマ (*Ursus thibetanus*) の季節的な行動圏および土地利用について
高橋広和¹, 原科幸爾², 青井俊樹²(岩手大学大学院連合農学研究科¹, 岩手大学農学部²)
- P137 * 栃木県足尾地域におけるツキノワグマのcourtship行動の観察事例 ツキノワグマの交尾期はいつ?
小坂井千夏¹, 根本唯¹, 小池伸介¹, 山崎晃司², 梶光一¹(東京農工大¹, 茨城県自然博物館²)
- P138 安定同位体比解析および年齢査定による2006年長野県ツキノワグマ大量出沒の特徴
中下留美子¹, 岸元良輔², 鈴木彌生子¹, 泉山茂之³, 後藤光章⁴, 楊宗興⁵, 林秀剛⁴(首都大院・理工¹, 長野県環境保全研², 信大農³, 信州ツキノワグマ研究会⁴, 東京農工大院⁵)

会場:第2学生食堂

- P139 * 歯の形態に基づくニホンツキノワグマの地理的変異
上堀智司(英数学館高等学校)
- P140 * ツキノワグマの目撃情報から何がわかるか - 尾瀬国立公園における事例 -
橋本幸彦, 安類智仁((財)尾瀬保護財団)
- P141 * 鳥根県西部地域で初めて確認したクマハギ被害の実態
澤田誠吾¹, 金森弘樹¹, 竹下幸広¹, 山川渉², 藤田曜³(鳥根県中山間地域研究センター¹, 鳥取県林政課², (財)自然環境研究センター³)
- P142 北海道渡島半島地域におけるヘア・トラップ法を用いたヒグマ個体数推定の試み
釣賀一二三¹, 山村光司², 富沢昌章³(北海道環境科学研究センター¹, 農業環境技術研究所², 北海道日高支庁³)
- P143 * ヒグマの個体識別および血縁関係推定のために最適なマイクロサテライトマーカーセットの検討
伊藤哲治¹, 佐藤喜和², 間野勉³(日大・院・生物資源・森林動物¹, 日大・生物資源・森林動物², 北海道環境科学研究センター³)
- P144 エゾヒグマMHCクラス 遺伝子の多型解析とクマ科における比較研究
合田直樹¹, 間野勉², 増田隆一³(北大・院理・自然史¹, 道環境科学研究センター², 北大・創成研³)
- P145 * 北海道のヒグマが採食する果実類
大貫麻衣子¹, 今井桂², 小林喬子¹, 佐藤喜和²(日大・院・生物資源・森林動物¹, 日大・生物資源・森林動物²)
- P146 * DNA個体識別法によるヒグマの農地侵入実態と駆除の効果
山田幸¹, 堀口未央¹, 佐藤喜和¹, 伊藤哲治², 小林喬子², 清瀬うつき³(日大・生物資源・森林動物¹, 日大・院・生物資源・森林動物², 北海道教育大・釧路³)
- P147 * エゾヒグマの食性:糞を用いた定量的および定性的評価
松橋美紀¹, 押田龍夫¹, 釣賀一二三², 河合正人³(帯畜大野生動物管理学¹, 北海道環境科学研究センター², 帯畜大畜産生命科学³)
- P148 * エゾシカ駆除数の変動に対するヒグマの採餌パターン
小林喬子¹, 佐藤喜和²(日大・院・生物資源・森林動物¹, 日大・生物資源・森林動物²)

会場:第2学生食堂

- P149 知床半島における人とヒグマの遭遇状況とヒグマの反応の長期的変化について
山中正実¹, 岡田秀明², 小平真佐夫¹, 葛西真輔¹ (知床財団¹, 斜里町自然保護係²)
- P150 日本海側に来遊するゴマフアザラシの個体数の季節変動と移動パターン
小林万里^{1,4}, 河野康雄², 仁科未央¹, 藤本泰裕³, 加藤菊緒⁴ (東農大・生産・ア
クア¹, フリー調査員², 北大・獣医・生態³, NPO北の海の動物センター⁴)
- P151 * 厚岸大黒島におけるゼニガタアザラシ (*Phoca vitulina stejnegeri*) の上陸行動の
特徴
日名耕司¹, 小林万里², 鈴木正嗣³, 坪田敏男¹ (北大院・獣医¹, 東農大・生物
産業・アクアバイオ², 岐阜大・野生動物医学³)
- P152 * 北海道沿岸に生息するゼニガタアザラシ (*Phoca vitulina stejnegeri*) とゴマフアザ
ラシ (*Phoca largha*) の遺伝学的変異
中川恵美子¹, 小林万里², 鈴木正嗣³, 坪田敏男¹ (北大院・獣医¹, 東農大・生
物産業・アクアバイオ², 岐阜大・野生動物医学³)
- P153 北海道宗谷岬弁天島におけるトドの上陸数の変動とその要因
和田 昭彦¹, 服部 薫² (道立稚内水試¹, 北水研²)
- P154 フロリダマナティーにおける鼻骨の評価
保尊脩¹, 川田伸一郎², 織田銃一¹ (名大院・生命農¹, 国立科学博物館動物研
究部²)
- P155 * 1983-2007年の目視調査データを用いた北方型コヒレゴンドウ (タッパナガ) の分布
と群れ密度推定
金治佑, 岡村寛, 宮下富夫 (水産総合研究センター遠洋水産研究所)
- P156 * 根室海峡におけるマッコウクジラの潜水行動
天野雅男¹, 青木かがり², 佐藤晴子³, 興相あや¹, 宮崎信之² (帝京科学大学¹,
東京大学海洋研究所², シーライフウォッチ³)



Programme

2008 Annual Meeting of Mammalogical Society of Japan

Venue: Yamaguchi University

Dates: 12-15 September 2008

Inquiries: H. Tado (Meeting Secretariat)

Lab. of acoustic biology, Faculty of Science,
Yamaguchi University, 1677-1 Yoshida, Yamaguchi
753-8511

Tel/Fax: +81-83-933-5723

E-mail: MammYamaguchi2008@sci.yamaguchi-u.ac.jp

Web Site: <http://www.mammalogy.jp/msj2008/>

(Affiliations mentioned are only those of the presenting author (*).)

Open Symposium

Sunday, September 14

14:30 ~ 17:30

Open Symposium

Mammal fossils in cenozoic era preserved in limestone caves of Akiyoshi- dai Plateau.

- S1 Caves of Akiyoshidai Plateau and its chronology based on the rate of downward erosion of Koto-gawa River**
Atsusi Fujii (Honorary Curator of the Kitakyushu Museum of Natural History and Human History)
- S2 Fauna of Quaternary mammals based on mammalian fossils found in limestone caves and fissure deposit of Akiyoshi-dai Plateau**
Yoshikazu Hasegawa (Curator of the Gunma Museum of Natural History)
- S3 Faunal relationship of Quaternary mammals between western Japan focussed on the Akiyoshi-dai Plateau and the adjacent continent**
Yoshinari Kawamura (Department of Earth Sciences, Aichi University of Education)

Monday, September 15

9:00 ~ 12:00

Open Symposium 2

Animal societies: approach from vocal communication

- S4** **Vocal repertoire and the functions of vocalization in Sika deer**
Masato Minami (Wildlife Community Institute)

- S5** **Acoustic communication in Japanese monkeys**
Hideki Sugiura (Wildlife Research Center of Kyoto University)

- S6** **Acoustic communication in dolphins and its constraints**
Tadamichi Morisaka (Wildlife Research Center of Kyoto University / JSPS)

- S7** **Vocal communication in bats**
Sumiko Matsumura (Graduate School of Science and Engineering Yamaguchi University), Mari Ishida (Akiyoshi-dai Museum of Natural History)

Workshops

Saturday, September 13

Room

13:00 ~ 15:00 F1 How to collect livestock specimens and their species name
Chair: ODA Sen-ichi(Nagoya Univ)

Room

13:00 ~ 15:00 F2 Rediscovery of Tokudai muenki threatened critically with extinction in Okinawa--Recent research on Tokudai
Chair: Fumio Yamada (Forestry & For. Prod. Res. Inst. (FFPRI)), Hitoshi Suzuki (Hokkaido Univ.), Asato Kuroiwa (Hokkaido Univ.), Chie Murata (Hokkaido Univ.), Yoichi Matsuda (Hokkaido Univ.)

Room

13:00 ~ 15:00 F3 Biodiversity on the raccoon dog and red fox.
Chair: Ryuichi MASUDA(Hokkaido Univ.)

Room

13:00 ~ 15:30 F4 Current situations and perspectives on conservation and management for Japanese macaque populations in Japan
Chair: Toru Oi(Kansai Research Center, FFPRI), Yutaka Yoshida (Yamanashi Institute of Environment Science), Yasuyuki Muroyama (Wildlife Management Research Center, Hyogo)

Room

15:30 ~ 17:30 F5 Study room for sampling design and statistical analysis: how to make better use of your wildlife data
Chair: Masashi Kiyota (National Research Institute of Far Seas Fisheries, Fisheries Research Agency, Japan), Midori Saeki (National Agricultural Research Center, Japan)

Room

15:30 ~ 17:30 F6 Ecological studies of arboreal squirrels in western Japan
Chair: Yasuda Masatoshi (FFPRI-Kyushu), Tanaka Hiroshi (Yamaguchi Museum)

Room

15:30 ~ 17:30 F7 The tips for wild boar management and research
Chair: HIRATA Shigeki(Tottori Pref.), KODERA Yuji(Nagasaki Pref.)

Room

15:30 ~ 17:30 F8 How to publish your research papers in "Mammal Study".
Chair: Ryuichi MASUDA(Hokkaido Univ.)

Room

16:00 ~ 18:00 F9 The tenth meeting of the Conference of the Parties (COP 10) & The Basic Act on Biodiversity
Chair: Hidenori Kusakari(WWF Japan)

Workshops

Saturday, September 13

Room

18:00 ~ 20:00 F10 **Katachi no Gakko 13**

Chair: ENDO HIDEKI(The University Museum, The University of Tokyo)

Room

18:00 ~ 20:00 F11 **Farthest advance of measures for invasive alien mammals**

Chair: Tohru Ikeda(Hokkaido Univ.), Fumio Yamada(FFPRI), Go Ogura (Univ. of Ryukyus)

Room

18:00 ~ 20:00 F12 **Recent ecological studies on Japanese black bears -Our findings from the study of the habitat use and the food habits-**

Chair: Koji Yamazaki(Ibaraki Nature Museum), Shinsuke Koike(Tokyo Univ. of Agri. and Tech.)

Monday, September 15

Room B

10:00 ~ 12:00 F13 **Recent studies of Euroscaptor mizura.**

Chair: Shin-ichiro Kawada(Dept. Zool., NSMT), Yasushi Yokohata (Graduate School of Science and Engineering, Toyama Univ.)

Oral Presentations

Saturday, September 13

Room A

- 9:30 13A1 Habitat use and selection of Japanese macaque in Hyogo
Mika ENDO, Katsuya SUZUKI, Yasuyuki MUROYAMA (University of Hyogo)
- 9:45 13A2 Local variation of copulatory patterns in Japanese macaques
Naofumi Nakagawa¹, Hideki Sugiura¹, Miki Matsubara¹, Sachiko Hayakawa¹, Shiho Fujita², Shigeru Suzuki³, Yukiko Shimooka⁴, Mari Nishikawa¹ (Kyoto Univ.¹, Yamaguchi Univ.², Ryukoku Univ.³, Teikyo Univ. of Science & Technology⁴)
- 10:00 13A3 Using vaginal implant transmitters to detect birth in Hokkaido sika deer
Yukiko Matsuura¹, Hiromasa Igota², Yojiro Yanagawa³, Hiroshi Takahashi⁴, Masatsugu Suzuki⁵, (Hokkaido Uni. FSC¹, Rakuno Uni.², Hokkaido Uni. Vet³, Forestry and Forest Products Research Institute⁴, Gifu Uni.⁵)
- 10:15 13A4 Deer dung density estimation in sown pastures: a comparison between belt transect sampling and distance sampling
Hideharu Tsukada¹, Michiru Fukasawa¹, Takami Kosako¹, Yoshio Nakamura², Yasuko Hanafusa² (National Institute of Livestock and Grassland Science¹, National Institute of Animal Health²)
- 10:30 13A5 Relative density index of sika deer using browsing indices
Hiroyuki Uno¹, Masami Miyaki¹, Nobuhiro Akashi², Kazuhiro Minamino², Koichi Kaji³ (Hokkaido Institute of Environmental Sciences¹, Hokkaido Forestry Research Institute², Tokyo University³)
- 10:45 13A6 Cohort analysis of a sika deer population in eastern Hokkaido, Japan: examination of density, snow fall and human exploitation on population growth rate.
UENO M¹, KAJI K², Saitoh T³ (Hokkaido University, Graduate School of Agriculture¹, Tokyo University of Agriculture and Technology², Hokkaido University Field Science Center³)
- 11:00 13A7 Distribution of male sika deer on Ebino plateau, Kyushu, in rutting season
Yabe Tsuneaki¹, Matsukuma Seiko², Yoshiyama Kayo³ (FFPRI-Kyushu¹, Miyazaki Univ.², Kumamoto Univ.³)
- 11:15 13A8 Sika deer in windthrow areas (Typhoon 0418 Songda, 2004) around the Chitose National Forest
Hiroshi TAKAHASHI (FFPRI, Kansai)
- 11:30 13A9 Accidental mortality of Japanese serow, *Capricornis crispus*, Caused by deer, proof net, in Kyusyu
Akira ENDO (SAGA Univ.)
- 11:45 13A10 Seasonal expansion of deer-vehicle accident areas in Hokkaido
Misako Noro¹, Takane Shikano¹, Fumihito Hara¹, Toru Hagiwara² (Hokkaido Development Engineering Center¹, Hokkaido University²)

Oral Presentations

Saturday, September 13

Room B

- 9:30 13B1 Occurrence of *Vespertilio murinus* Linnaeus, 1758 in Japan
Kuniko Kawai¹, Dai Fukui², Masahiko Sato³, Masashi Harada⁴, Kishio Maeda⁵ (National Museum of Science, Tokyo¹, Forestry and Forest Products Research Institute², Rishiri Town Museum³, Osaka City University Graduate School of Medicine⁴, Center for Natural Environment Education⁵)
- 9:45 13B2 The comparison among flying echolocation calls, mosquito net calls and hand-release calls of microbats in Hokkaido
Miyuki Tanizaki¹, Masahito Ishiduka², Mikiya Yano², Kazunori Azumaya², Hisashi Yanagawa³(Docon Co., Ltd.¹, Civil Engineering & Planning Co., Ltd.², Obihiro University of Agriculture and Veterinary medicine³)
- 10:00 13B3 The endangered bat in Hateruma Island
Lazaro M. Echenique-Diaz¹, Kuniko Kawai², Kyle Armstrong³, Hisao Tamura⁴, Katerina Tsysulina⁵, Vitaly Matveev⁵ (Tohoku University¹, National Museum of Nature and Science², The University of Adelaide³, ABRI⁴, Russian Bat Research Group⁵)
- 10:15 13B4 Faunal bats survey of the Kussharo caldera(the Atosanupuri district)
Kondo N.¹, Sasaki N.²(N.M.H.N¹, Ezobat²)
- 10:30 13B5 Genetic structures of the East Asian mole *Mogera wogura* inferred from mitochondrial and nuclear gene sequences
Takashi Kirihara¹, Akio Shinohara², Kimiyuki Tsuchiya³, Masashi Harada⁴, Alexei P.Kryukov⁵, Hitoshi Suzuki⁶(Laboratory of Ecology and Genetics, Graduate School of Environmental Earth Science, Hokkaido University¹, Department of Bio-resources, Division of Biotechnology, Frontier Science Research Center, University of Miyazaki², Laboratory of Bioresources, Ooyo Seibutsu Co., Ltd.³, Osaka City University School of Medical School⁴, Institute of Biology and Soil Science, Russian Academy of Sciences⁵, Laboratory of Ecology and Genetics, Graduate School of Environmental Earth Science, Hokkaido University⁶)
- 10:45 13B6 Detection of evasive effect of compost containing herbal medicine extraction residue to lesser Japanese mole.
yoshimura K¹, Yokohata Y¹, Kurake N.² (University of Toyama¹, Yoshikei Compo Co.²)
- 11:00 13B7 Morphological variation of large Japanese field mice, *Apodemus speciosus* on islands of the Inland Sea.
Yasushi Takada(Aichi-gakuin Univ.)
- 11:15 13B8 Morphological differentiation in the skull of *Apodemus speciosus* in peripheral islands.
Yuta SHINTAKU¹, Masaharu MOTOKAWA² (Dep.zool, Grad.sch.sci., Kyoto Univ.¹, Kyoto Univ. Museum²)
- 11:30 13B9 Rediscovery of *Tokudaia muenninki* threatened critically with extinction in Yambaru, northern area of the Okinawa Island
Fumio Yamada¹, Norihiro Kawauchi², Yuji Miyake³, Shota Fukuchi³, Hiroshi Shichiri³, Shintaro Abe³, Nobuhiko Kotaka¹, Asato Kuroiwa⁴ (Forestry & For. Prod. Res. Inst. (FFPRI)¹, Islands Biology Institute², Min. Environment., Naha³, Hokkaido Univ.⁴)
- 11:45 13B10 Where is *Sciurus lis* in Kyushu?
Yasuda Masatoshi (FFPRI-Kyushu)

Oral Presentations

Sunday, September 14

Room A

- 9:00 14A1 Maximum and minimum food intake of captive wild boar for scheme agricultural and farm damage control
Takeuchi M.¹, Ueda H.², Inoue M.² (NARO NARC Wildlife damage management Team¹, NARO NARCWR Wildlife damage management Team²)
- 9:15 14A2 Estimation of Intrinsic rate of Natural increase and population of Japanese black bear
Hiroshi Sakata¹, Mayumi Yokoyama¹, Yoshiki Morimitsu¹, Atsushi Katayama² (Univ. Hyogo¹, WMO²)
- 9:30 14A3 Characteristics of behavior and habitat use for Japanese black bear after release with aversive conditioning in Hyogo Prefecture
Mayumi Yokoyama¹, Yoshiki Morimitsu¹, Erina Saita², Kimitoshi Eto², Satomi Yonozawa² (Univ. Hyogo/WMI.Hyogo¹, WMI.Hyogo²)
- 9:45 14A4 The activity of Japanese black bears before relocations
NISHI Nobusuke
- 10:00 14A5 Nutritional condition and dietary profile of Japanese black bears that intruded into residential area in Hiroshima, in 2006.
Toru Oi¹, Hitomi Furusawa¹, Naoki Ohnishi² (Kansai Research Center, FFPR1¹, FFPR2²)
- 10:15 14A6 Individual identification of Asiatic black bears using extracted DNA from damaged crops
Masae SAITO¹, Kiyoshi YAMAUCHI², Toshiki AOI³ (United Graduate School of Agricultural Sciences, Iwate University¹, Research Institute for Environmental Science and Health of Iwate Prefecture², Faculty of Agriculture, Iwate University³)
- 10:30 14A7 The number of young accompanying their mother brown bears reported by hunters
Tutomu Mano¹, Hifumi Tsuruga² (Hokkaido Institute of Environmental Sciences¹, Hokkaido Institute of Environmental Sciences²)
- 10:45 14A8 Shape difference related to size in the skull of the bottlenose dolphin (*Tursiops truncatus*).
Nozomi Kurihara¹, Sen-ichi Oda² (Department of Zoology, National Museum of Nature and Science¹, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University²)
- 11:00 14A9 Diet of Steller sea lions in a haulout site along the western Hokkaido, based on scat analysis
Yoko GOTO¹, Kaoru HATTORI², Takuma TAKAYAMA³, Takeomi ISONO², Yasunori SAKURAI³, Syuka MARUYAMA¹, Orio YAMAMURA² (Kushiro Fish.Exp. St.¹, HNFRI², Hokkaido Univ.Fish.³)
- 11:15 14A10 Distribution and density of finless porpoise in Osaka bay, Japan
Kanda, Ikuko¹, Kondo, Shigenori¹, Ishida, Yoshinari¹, Nabeshima, Yasunobu² (OCA¹, Rieaf Osaka²)
- 11:30 14A11 Abundance of Steller sea lions (*Eumetopias jubatus*) in the Japan Sea, Hokkaido
Hattori Kaoru, Isono Takeomi, Yamamura Orio (HNF)
- 11:45 14A12 Toward to avoiding ship strike of cetaceans with the high-speed jet-foil (1) -- Identifying expected cetacean species on the track lines of the jet-foil
Kentaro Shakata (TUMST Lab of Cetacean Biology)

Oral Presentations

Sunday, September 14

Room B

- 9:00 14B1 A trial of nutria control by water level management
Shirow TATSUZAWA¹, Katsushi KOBAYASHI², Yasuyoshi SUZUKI³(Hokkaido Univ.¹, Wildlife Research Inst², Kasai City³)
- 9:15 14B2 Distribution and impact of feral goat in Amami-Oshima Island, Japan
Yuya Watari^{1,2}, Naoshi Nagae¹, Ryo Yamashita^{1,3}, Yoshitaka Takatsuki¹, Satoshi Nagumo³, Yasunori Maezono^{1,4}(Amami Mammalogical Society¹, Forestry and Forest Products Research Institute², Amami Mongoose Busters³, Kyoto Univ.⁴)
- 9:30 14B3 Home range size and spacing pattern of raccoon dogs in Oku-Nikko, Tochigi Prefecture, Japan
Yoshikazu SEKI (Tokyo Univ. of Agri. and Tech.)
- 9:45 14B4 Habitat Suitability Index model for the Japanese badger
Yayoi KANEKO¹, Nobuhiko SATO²(Yamazaki College of Animal Health Technology¹, Ecosystem Conservation Society - Japan²)
- 10:00 14B5 An estimation for the number and the area of habitat using droppings in the Japanese marten population
○Takayuki Adachi¹, Shusei Arai², Yoshiko Kuwahara¹, Kazumi Tago³, Hiroshi Matsumura³, Masatoshi Nakamura¹, IDEA Consultants, Inc.³(LAT¹, General Education, Kyushu Dental College², IDEA Consultants, Inc.³)
- 10:15 14B6 Extinction process of the Japanese otter and the level of its exposure in newspaper articles
Motokazu ANDO, Kayoko YAMAMOTO, Hiroshi OGAWA, Takashi AMANO (Tokyo Univ. of Agriculture)
- 10:30 14B7 The distribution of Japanese weasels *Mustela itatsi* at Gokayama in Seburi Mountains, Fukuoka, Japan
Hiroshi SASAKI¹, Takeshi Sekiguchi², Shigeki WATANABE³, Yoshiko Kurihara², Daigo Moriyama⁴, Naoko Kurose⁵, Rikyu Matsuki⁶, Midori Saeki⁷ (Chikushi Jogakuen Univ, Jr. College¹, Fac. Med., Kyushu Univ. ², Seian Univ. of Art and Design³, Kokusai Kogyo Co., LTD⁴, Fac.Sci., Kanagawa Univ.⁵, CRIEPI⁶, NARC⁷)
- 10:45 14B8 Determination of species and sex of *M.itatsi*, *M.sibirica*, and *M.melampus*
Takeshi Sekiguchi¹, Hiroshi SASAKI², Yoshiko Kurihara¹, Shigeki WATANABE³, Daigo Moriyama⁴, Naoko Kurose⁵, Rikyu Matsuki⁶, Midori Saeki⁷ (Fac. Med., Kyushu Univ. ¹, Chikushi Jogakuen Univ, Jr. College², Seian Univ. of Art and Design³, Kokusai Kogyo Co., LTD⁴, Fac.Sci., Kanagawa Univ. ⁵, CRIEPI⁶, NARC⁷)
- 11:00 14B9 Pinniped and Red Panda affinities elucidated using exon nucleotide sequences of 5 nuclear genes
Jun J. Sato¹, Mieczysław Wolsan²(Department of Biotechnology, Fukuyama University¹, Museum and Institute of Zoology, Polish Academy of Sciences²)
- 11:15 14B10 Taxonomical study on extinct galictini (*Mustelidae*, *Carnivora*)
Shintaro Ogino (Kyoto Univ. Primate Research Institute)
- 11:30 14B11 Developmental pattern of mammalian tooth from comparative and developmental points.
Kozawa Yukishige¹, Ohshima Hayato², Han-Sung Jung³ (Dept.Anat., Nihon Univ.Sch.of Dent.at Matsudo¹, Div.of Anat.and Cell Biol.Niigata Univ.Graduate Sch.of Med.and Dent.Sci², Div.in Anatomy&Dev. Biology, College of Dent., Yonsei Univ.³)

Poster Presentations

- P1 Foraging habitat of Northern bat in agricultural area of Tokachi district, Hokkaido
ISHII Kenta, YANAGAWA Hisashi (Laboratory of Wildlife Ecology, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine)
- P2 Diet and functional traits of three sympatric insectivorous bat species in Japan
Dai Fukui¹, Katsunori Okazaki², Kishio Maeda³(JSPS Research Fellow , Hokkaido Research Center, Forestry and Forest Products Research¹, Natural History Museum Kutchan², Nara University of Education³)
- P3 The prey insects of Greater Horseshoe Bat (*Rhinolophus ferrumequinum*) on Saku city, Nagano prefecture.
TSUJI Akiko¹, KOYANAGI Kyouji²(BAT Study and Conservation¹, NPO Asian Bat Research Institute²)
- P4 The effects of forest vegetation and riparian zone on abundance of forest dwelling bats
Satoko Yoshikura¹, Takashi Kamijo², Sachiko Yasui³(University of Tsukuba^{1,2}, Tsukuba Ibaraki³)
- P5 Roost selection in *Murina ussuriensis* sexual segregation between the forest layers
Hirofumi HIRAKAWA(Forestry and Forest Products Research Institute)
- P6 Day roost of Ikonnikov whiskered bat and Long-legged whiskered bat.
Hiroshi DEWA(Asahikawa Univ.), Syogo SHIMIZU, Yuto KAWABATA, Takuro SUGIMOTO, Tetu YAMAGUCHI, Tadahiro YONEDA, Mao HARADA
- P7 Solution of distribution pattern of the Japanese house bat (*Pipistrellus abramus*) in Tokyo City
Yoko Ando, Nobuo Kanzaki(Tokyo University of Agriculture and Technology, Laboratory of Wildlife Conservation)
- P8 Shift in private frequency in a small captive group of Japanese greater horseshoe bat (*Rhinolophus ferrumequinum*)
O Maiko Akagi, Sumiko Matumura(Yamaguchi Univ.)
- P9 The population genetics study for exploring the maintenance mechanism of regional variation in echolocation calls of Okinawa least horseshoe bats on Okinawa-jima Island.
Hajime Yoshino¹, Kyle Armstrong², Masako Izawa³, Jun Yokoyama⁴, Masakado Kawata¹(Tohoku Univ. Life Science¹, Kyoto Univ. Museum², Ryukyu Univ. Science³, Yamagata Univ. Science⁴)
- P10 Reproductive cycle and nursing behaviours of the Orii's flying-fox
Akiko Sato¹, Atsushi Nakamoto¹, Masako Izawa¹, Kazumitsu Kinjo²(Faculty of Science, University of the Ryukyus¹, Faculty of Law, Okinawa International University²)

Poster Presentations

- P11 Observations on the insectivory of the Orii's flying fox *Pteropus dasymallus inopinatus*
Atsushi Nakamoto¹, Akiko Sato¹, Kazumitsu Kinjo², Masako Izawa¹(Faculty of Science, University of the Ryukyus¹, Faculty of Law, Okinawa International University²)
- P12 Developmental pattern of tooth root in Mammalia
Kozawa Yukishige¹, Ohshima Hayato², Han-Sung Jung³ (Dept.Anat.,Nihon Univ.Sch.of Dent.at Matsudo¹, Div.of Anat.and Cell Biol.Niigata Univ.Graduate Sch.of Med.and Dent.Sci², Div.in Anatomy&Dev. Biology,College of Dent.,Yonsei Univ.³)
- P13 Variation ranges of upper and lower molar dimensions in *Apodemus speciosus*
Keiki Matsuda , Masahiro A. Iwasa(Grad Sch Bioresour Sci Nihon Univ)
- P14 Identification of *Apodemus draco*, *A. peninsulae* and *A. latronum* and syntopic of *A. draco* and *A. peninsulae* at the same locality
Yukibumi Kaneko
- P15 Effect of energy reserve levels on daily torpor in the large Japanese field mouse (*Apodemus speciosus*)
Takeshi Eto¹, Toshihiro Takahashi², Tetsuo Morita² (Univ of Miyazaki · grad · Agri¹, Univ of Miyazaki · Agri²)
- P16 Population genetic analysis of the Japanese wood mouse (*Apodemus speciosus*) using microsatellite markers.
Morihiko Tomozawa¹, Hitoshi Suzuki², Kimiyuki Tsuchiya³(Hokkaido University, Graduate School of Environmental Science¹, Hokkaido University, Faculty of Environmental Earth Science², (C)OOYO-SEIBUTSU³)
- P17 Polymorphisms and Function of Dioxin Receptor (AhR) in Japanese Field Mice ; Evaluation of Dioxins Contamination using AhR as a Marker of Sensitivity to Dioxins
Hiroko ISHINIWA¹, Kana ISHIHARA², Ken TASAKA², Mami SUTANI², Nobuhiko HOSHI², Toshifumi YOKOYAMA², Kenichi YASUMOTO³, Kazuhiro SOGAWA³ Tsuneo SEKIJIMA¹(Dept. of Environmental Science, Niigata University¹, Dept. of Agricultural Science, Kobe University², Dept. of Life Science, Tohokoku University³)
- P18 Study on the Species Component of Mice in the Flood plain of Tama River
Takatsuna Kuroda¹, Hiroki Shibamura², Takehiko Katsuno²(College of Bioresource Sciences, Fuji Nature Education Center, Nihon University¹, College of Bioresource Sciences, Lab.of Landscape Science and Planning , Nihon University²)

Poster Presentations

- P19 A use of SNPs in phylogeographic study of Japanese wild house mice.
Usuda Daiki¹, Kikkawa Yoshiaki², Moriwaki Kazuo³, Suzuki Hitoshi¹ (Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University¹, Graduate School of Bio-Industry, Tokyo University of Agriculture², RIKEN BRC³)
- P20 Coat color variation of wild mouse in an urban area
Taichi Suzuki, Masahiro A. Iwasa(Nihon Univ.)
- P21 Effects of cohabitation on daily torpor in the small japanese field mouse(*Apodemus argenteus*).
Yoshinobu Ohkubo¹, Toshihiro Takahashi², Tetsuo Morita²(Grad,Agri and Engi,Univ,Miyazaki¹, Agri,Univ,Miyazaki²)
- P22 Comparison of camera-trap and conventional capture methods in survey of the Japanese water shrew
Ryusuke Fujimoto, Suzunosuke Sado, Hiroshi Ogawa, Takashi Amano, Motokazu Ando(Lab.Wild Animals, Tokyo Univ. of Agriculture)
- P23 Habitat preference of the Japanese water shrew in Kanagawa Pref.
Yuri Kawaharada, Taihei Kometani, Masahiro A. Iwasa(Nihon Univ.)
- P24 Morphological features of Norway rat (*Rattus norvegicus*) derived from wild population in Shitara-cho, Aichi, Japan.
Inoue Satoko, Jogahara Takamichi, Moribe Junji, Oda Sen-ichi(Grad. Sch. Bio. Agr. Sci., Nagoya Univ.)
- P25 Phylogeographic analysis of black rat from Japan using Mc1r sequence
Yoshikazu Kanbe¹, Tsutom Tanigawa², Tatsuo Yabe³, Yasunori Maezono⁴, Ken Ishida⁵, Kimiyuki Tsuchiya⁶, Sosuke Suzuki⁷, Yasuharu Matsumoto⁸, Ken P. Aplin⁹, Hitoshi Suzuki¹⁰ (Faculty of Science,Hokkaido Univ.¹, Ikari Corporation², Rat Control Consulting³, Faculty of Agriculture,Kyoto Univ.⁴, Faculty of Agriculture,Tokyo Univ.⁵, Applied Biolog Co.LTD⁶, JIAFE⁷, Otaru Quarantine Station⁸, CSIRO.Australia⁹, Graduate School of Environmental Earth Science Hokkaido Univ.¹⁰)
- P26 Seabirds in stomach contents of black rats, *Rattus rattus*, on Higashijima, the Ogasawara Islands
Tatsuo YABE¹, Takuma HASHIMOTO², Masaaki TAKIGUCHI², Masanari AOKI², Kazuto KAWAKAMI³ (Rat Control Consulting¹, Jpn Wildl Res Center², Forestry & Forest Products Res Inst³)
- P27 Historical record about introduction and distribution of the *Suncus murinus*
Takeshi Yamazaki¹, Sen-ichi Oda²(Nara National Research Institute for Cultural Properties¹, Nagoya Univ.²)

Poster Presentations

- P28 Herbivorous adaptation of jaw muscles in broad-toothed rats
Kazuhiko Satoh¹, Ken P. Aplin², Yasutoku Kogaya¹, Kin-ya Kubo¹, Sadakazu Ejiri¹ (Dept. Oral Anat., Asahi Univ. Sch. Dent.¹, CSIRO, Australia²)
- P29 Roles of the forestomach and / or caecum in the fiber digestion of triton hamsters
Kyoko Ishikawa¹, Syunsuke Ueno², Toshihiro Takahashi¹, Tetsuo Morita¹ (Agri, Univ, Miyazaki¹, Grad, Agri, Univ, miyazaki²)
- P30 Tooth size variability and influence of the oligodontia in the house musk shrew (*Suncus murinus*)
Takamichi Jogahara^{1,2}, Kazuhiro Koyasu², Hajime Hanamura², Tatsushi Kawai², Sen-ichi Oda¹ (Grad. Sch. Bio. Agr. Sci., Nagoya Univ.¹, Sch. Dent., Aichi-Gakuin Univ.²)
- P31 Late Miocene large porcupine from the Irrawaddy Formation, Myanmar (a preliminary report).
Yuichiro Nishioka¹, Zin-Maung-Maung-Thein¹, Masanaru Takai¹, Tsuyoshi Ito¹, Thaung-Htike² (Primate Research Institute, Kyoto Univ.¹, Shwebo Degree College²)
- P32 Distributional expansion of *Erinaceus amurensis* at Ito, Shizuoka Pref. and Odawara, Kanagawa Pref.
Ando Motokazu¹, Ishii Nobuo², Komatsu Keiko¹, Sakuragi Takashi¹, Hori Mariko¹, Tetsuya Tatuyuki¹, Ogawa Hiroshi¹, Amano Takashi¹ (Lab. Wild Animals, Tokyo Univ. of Agriculture.¹, Tokyo Woman's Christian University²)
- P33 Mammals of western part of Madagascar.
Ryo Ito (Kyoto University)
- P34 Tree cavities used by breeding female Siberian flying squirrels
Yushin Asari¹, Ruika Haraguchi², Hisashi Yanagawa² (Chodai co., Ltd.¹, Lab. Wildlife ecol., Obihiro Univ. Agri. Veter. Med.²)
- P35 Space use of Siberian flying squirrels in windbreak forests
Rie Tojo¹, Yushin Asari², Hisashi Yanagawa¹ (Lab. Wildlife ecol., Obihiro Univ. Agri. Veter. Med.¹, Chodai co., Ltd.²)
- P36 Movements and home ranges of lactating Siberian flying squirrels
Ruika Haraguchi¹, Yushin Asari², Hisashi Yanagawa¹ (Lab. Wildlife ecol., Obihiro Univ. Agri. Veter. Med.¹, Chodai co., Ltd.²)

Poster Presentations

- P37 Phylogeography of red squirrel (*Sciurus vulgaris*) in Hokkaido Island, Japan
Maiko NODA¹, Tatu OSHIDA¹, Alexei Abramov², Hideo ICHIKAWA³, Ryuichi MASUDA³ (Obihiro Univ. of Agriculture and Veterinary Medicine¹, Zoological Institute Russian Academy of Science², Hokkaido Univ.³)
- P38 Monitor of Nest Cavity used by animals
Yusuke Iwasaki (Wildlife research group of Fukushima Prefecture)
- P39 Preferences of the Japanese dormouse, *Glirulus japonicus*, for microhabitat.
Yumena Nakamura¹, Nobuaki Kojo¹, Hidetoshi B. Tamate² (Yamagata University¹, Yamagata University²)
- P40 Assessing of mating system and genetic relationships between individuals sharing the same nest-boxes in the Japanese dormouse using microsatellite markers
Shumpei P. Yasuda¹, Manami Iwabuchi², Aya A. Nakayama², Shusaku Minato², Hitoshi Suzuki¹ (Laboratory of Ecology and Genetics, Graduate School of Environmental Earth Science, Hokkaido University¹, KEEP Dormouse Museum²)
- P41 Food habits and their seasonal variations of the Japanese dormouse, *Glirulus japonicus*.
Manami Iwabuchi¹, Shinji Sugiyama², Chise Minato³, Chigako Wakabayashi⁴, Shusaku Minato¹ (KEEP Dormouse Museum¹, WOODS², Japanese Dormouse Conservation Study Group³, Wakabayashi Environmental Education Office⁴)
- P42 Study and Results Concerning Animal-Pathway for Arboreal Animals
Haruka Aiba¹, Manami Iwabuchi¹, Kazuaki Iwamoto², Kouichi Ootake³, Miho Okada³, Shinji Oda², Hiroyuki Komatsu², Yoshiharu Satou⁴, Junko Sechibarū⁴, Chigako Wakabayashi⁵, Shusaku Minato¹ (KEEP Dormouse Museum¹, SIMIZU CORPORATION², TAISEI CORPORATION³, Enwit Inc.⁴, Wakabayashi Environmental Education Office⁵)
- P43 Technical improvements for survey of small arboreal rodents.
Kei Suzuki¹, Yasuhiro Nagai², Eri Taniguchi¹, Erina Okamoto¹, Emi Hirose¹, Hiroshi Ogawa¹, Takashi Amano¹, Motokazu Ando¹ (Lab. Wild Animals, Tokyo Univ. of Agriculture¹, IDEA Consultants, Inc²)
- P44 The distribution of the Formosan squirrel in Kanagawa prefecture
Keita Hasegawa¹, Yoshikazu Sato², Noriko Tamura³ (Graduate school of Bioresource sciences, Nihon Univ.¹, College of Bioresource sciences, Nihon Univ.², Forestry and Forest Products Research Institute³)

Poster Presentations

- P45 Nest box use by small arboreal mammals in subtropical forest of Vietnam
Ami KATO¹, Tatu OSHIDA¹, Son Truong NGUYEN², Nghia Xuan NGUYE², Hao Van LUQNG³, Hideki ENDO⁴ (Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine¹, Institute of Ecology and Biological Resources, Vietnamese Academy of Science and Technology², Cuc Phuong National Park³, The University Museum, The University of Tokyo⁴)
- P46 Mammal Fauna in Okayama Prefecture as compiled in Environmental Assessment Books
Yokoyama Takashi¹, Kobayahi Shuji², Yabuki Akira³(Univ. of Okayama-Sience¹, Univ. of Okayama-Sience², Reserch Group of Asiatic Black Bear³)
- P47 Circadian rhythms in activity and body temperature, and their entrainment to photoperiod in large Japanese moles (*Mogera wogura*).
Kunihito Moteki¹, Atsushi Kashimura¹, Akio Shinohara¹, Kimiyuki Tsuchiya², Toshihiro Takahashi¹, Tetsuo Morita¹(Univ.Miyazaki¹, Applied Biology Co., Ltd.²)
- P48 Home range shift of the large Japanese mole, *Mogera wogura*, in the pasture land
Atsushi KASHIMURA¹, Kunihito MOTEKI², Akio SHINOHARA³, Kimiyuki TSUCHIYA⁴, Toshihiro TAKAHASHI⁵, Tetsuo MORITA⁵ (Grad. Sch. Agric. Engineer., Univ. Miyazaki¹, Grad. Sch. Agric. Univ. Miyazaki², Frontier Sci. Res. Ctr., Univ. Miyazaki³, Applied Biology, Co., Ltd.,⁴, Fac..Agric.,Univ.Miyazaki⁵)
- P49 Detection of sex-biased dispersal in the lesser Japanese mole by microsatellite markers
Chie MURATA¹, Hidetoshi TAMATE²(Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ.¹, Biol. Sci. Yamagata Univ.²)
- P50 The care and breeding of soricinae shrew *Cryptotis parva* in captivity
Nanase Miwa¹, Takamichi Jogahara^{1,2}, Kazuhiro Koyasu² Orin B. Mock³, Tatsushi Kawai², Hajime Hanamura², Sen-ichi Oda¹(Grad. Sch. Bio. Agr. Sci., Nagoya Univ.¹, Sch. Dent., Aichi-Gakuin Univ. Reserch Institute of Advanced Oral Science. Aichi-Gakuin Univ.², KCOM³)
- P51 The karyological analysis of three subspecies in *Sorex shinto*
Junji Moribe¹, Tatsuya Noro², Shuji Kobayashi³, Sen-ichi Oda¹ (Laboratory of Animal Management and Resources, Graduate School of Bio-Agricultural Sciences, Nagoya University, Japan¹, Faculty of Human Culture, Chukyo Women s University, Japan², Department of Zoology, Faculty of Science, Okayama University of Science, Japan³)
- P52 Diet of Least shrew in Hokkaido
Tomoyuki Namba, Satoshi D. Ohdachi(Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University)
- P53 Seasonal and age variations of tail in the greater Japanese shrew-mole
Koichiro Shirai, Masahiro A.Iwasa(Nihon Univ.)
- P54 Small moles collected from low altitudinal area of nothern Vietnam
Shin-ichiro Kawada¹, Nguyen Truong Son², Dang Ngoc Can²(Dept. Zool., Natl. Mus. Nat. Sci¹, IEBR, Viet. Acad. Sci. & Tech.²)

Poster Presentations

- P55 Identification of food plants by DNA analysis from hare feces
Rikyu Matsuki¹, Seiya Abe¹, Mariko Nishimura², Toru Takeuchi¹, Tsuneo Sekijima³, Makoto Nashimoto¹ (CRIEPI¹, Faculty of Science, Toho Univ.², Graduate School of Science and Technology, Niigata Univ.³)
- P56 The role of Pleistocene refugia in shaping genetic diversity of the Japanese hare (*Lepus brachyurus*).
Mitsuo Nunome¹, Harumi Torii², Fumio Yamada³, Kimiyuki Tsuchiya⁴, Hitoshi Suzuki¹ (Course in Ecological Genetics, Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University¹, Center for Natural Environment Education, Nara University of Education², Forestry and Forest Products Research Institute³, Applied Biology.Co.,Ltd⁴)
- P57 Habitat selection of Japanese hares in line-thinning forest: to restore foraging habitats of Japanese Golden eagles
Taeko Ishima, Tsuneo Sekijima (Niigata University Dept of environmental Science)
- P58 Introduction of Mongoose Searching Dog for Complete Mongoose Eradication in Yambaru Forest Region Okinawa Island, SW JAPAN
Takako Yamaguchi¹, Hiromi Ukuta², Ryoji Fukuhara¹, Sugoto Roy³, Junichi Tanaka¹, Go Ogura⁴ (Nansei Environ. Lab. Co., Ltd.¹, Okinawa Prefecture², Central Science Laboratory, United Kingdom³, Ryukyu University⁴)
- P59 Acute toxic study of Para- Aminopropiophenone on invasive small Asian mongoose
Go Ogura¹, Katushi Nakata¹, Charles T.Eason², Sugoto Roy³, Elaine C.Murphy⁴, Kouki Hirano¹ (Subtropical zoology, Faculty of Agriculture, Univ. of the Ryukyu¹, Lincoln University, Bio-Protection and Ecology Division (NZ)², Central Science Laboratory, Wildlife Ecology and Management(UK)³, Department of Conservation(NZ)⁴)
- P60 Searching for attractants for captive small Asian mongoose.
Hisae Yanagida, Kousaku Fujita, Go Ogura, Koki Hirano, Osamu Ishibashi, Katsunori Sunagawa(RAS)
- P61 Development of mongoose specific bait box for mongoose eradication using Diphacinone bait
Observation of mongooses behaviors for four prototypes of bait boxes
Koki Hirano, Go Ogura, Katushi Nakata, Osamu Ishibashi, Katsunori Sunagawa, Hisae Yanagida(RAS)
- P62 Comparative study on the stomach contents of two wild cats in Japan
Juan Jose Diaz Sacco, Nozomi Nakanishi, Ayumi Teranishi, Daisuke Araki, Masako Izawa (Faculty of Science, University of Ryukyus)
- P63 Effects of artificial environmental change on the endangered Tsushima leopard cat
Daisuke Araki¹, Nozomi Nakanishi¹, Masako Izawa¹, Teruo Doi² (Faculty of Science, University of Ryukyus¹, Faculty of Environmental Studies, Nagasaki University²)

Poster Presentations

- P64 Camera-trapping survey on the utilization of mountainous ridge by the Tsushima leopard cat
Ayumi Teranishi¹, Teruo Doi², Masako Izawa¹(University of the Ryukyus·Faculty of Science¹,
Nagasaki Uni.·Faculty of Environmental Studies²)
- P65 Comparison of the habitat use of the Iriomote cat using camera traps
Kazushi Umemura, Nozomi Nakanishi, Masako Izawa, Okinawa District Forest Office, Forestry
Agency of Japan (Faculty of Science, University of Ryukyus)
- P66 Life history of the Iriomote cat clarified by age determination
Nozomi Nakanishi, Fumie Ichinose, Masako Izawa (Faculty of Science, University of Ryukyus)
- P67 Arboreal adaptation of hindlimb muscles in Felidae
Hiromi kamigaichi¹, Daisuke koyabu², Motoharu oisi³, Hajime Taru⁴, Hideki Endou²(Toukyo
agricultural university¹, Toukyo university², Azabu university³, Kanagawa prefectural.museum of
natural history⁴)
- P68 Variation of skull morphology in a local population of raccoon dog(*Nyctereutes Procyonoides*)in
Gifu,Japan
Masakazu Asahara¹, Hideki Endo², Masaharu Motokawa³(Graduate school of science,kyoto univ¹,
The university museum,the university of Tokyo², The kyoto university museum,kyoto univ.³)
- P69 Preliminary report on the seasonal change of the home range of a raccoon dog in the Imperial Palace,
Tokyo.
Takako Sako¹, Shin-ichiro Kawada², Makito Teduka³(Imperial Household Agency¹, Dept. Zool., Natl.
Mus. Nat. Sci.², Field Work Office³)
- P70 Phylogeography of the *Meles* spp, based on mt DNA D-loop and SRY analysis.
Sara Tashima¹, Yayoi Kaneko², Alexei Abramov³, Ryuichi Masuda⁴(Hokkaido Univ.¹, Yamazaki coll.
of Anim. Health Tech. 2, Russ. Acad. of sci.³, Hokkaido Univ.⁴)
- P71 Microsatellite analysis on the red fox population of the Hokkaido Island
Takuya Oishi¹, Koji Uruguchi², Ryuichi Masuda¹(Hokkaido Univ.¹, Hokkaido Institute of public
health²)
- P72 Detection rates of small mammals and effects of baits in sensor camera survey
Kazuaki SUZUKI, Hiroshi OGAWA, Takashi AMANO, Motokazu ANDO (Lab.Wild Animals, Tokyo Univ.
of Agriculture)
- P73 The present status of an alien species of the Mammalia in Kochi prefecture
Syuuji Yachimori(Shikoku Institute of Natural History)

Poster Presentations

- P74 The present status of alien mammals in Shimane Prefecture -Distribution of Nutria, Raccoon, and Palm civet and capturing them-
Hiroki Kanamori, Seigo Sawada, Yukihiro Takeshita (Shimane Prefectural Mountainous Region Research Center)
- P75 Preliminary study of age determination in masked palm civet(*Paguma larvata*).
Takuya Kato^{1,2}, Kazumi tei^{1,2}, Kosuke Wada², Kenzo Hamamoto², Taiki Uno², Shin-ichi Hayama² (Laboratory of Veterinary Reproduction, Nippon Veterinary and Life Science University¹, Center for Wildlife Conservation&Management, Nippon Veterinary and Life Science University²)
- P76 Molecular cloning and polymorphism of Raccoon MHC
Yuzo Takada¹, Tomoharu Tokutomi¹, Toshio Imai², Jun Kanetake¹(NDMC¹, Toho Univ²)
- P77 Evolutionary Aspects of the Raccoon Based Upon a Phylogenetic Analysis of Mitochondrial Genes
Tomoharu Tokutomi · Yuzo Takada · Takako Murayama · Jun Kanetake(Dept Forensic Med,Natl Def Med Coll)
- P78 Food habits of Raccoon in naruto city,tokushima prefecture
Kaneshiro Yoshinori, Yachimori Syuuji(Shikoku Institute of Natural History)
- P79 Raccoons' local populations and sexual difference of their dispersal in Wakayama.
SUZUKI Kazuo,TAKADA Yuzo (Hikiwa Park center, Dept, Forensic Medicine, National Defence Medical College)
- P80 Impact of the alien raccoon on resident mid-sized mammals in Kanagawa Pref.
Ando Motokazu, Maeyama Naoko, Sano Takuya, Oota Kie, Iguti Masaki, Iwashita Akio, Ogawa Hiroshi, Amano Suguru(Laboratory of Wild Animals, Department of Animal science, Faculty of Agriculture, Tokyo University of Agriculture)
- P81 Distribution and status of an invasive alien mammal: Raccoon(*Procyon lotor*) in Chiba prefecture, central Japan.
Hitoho Yatake¹, Tuyoshi Akita¹, Atushi Furukawa¹, Takahiro Miura², Daisuke Hikita², Keiji Otiai³, Makoto Asano⁴, Eriko Shinohara⁵ (CERES, Inc.¹, Jpn Wildl Res Center², Natural History Meuseum and Institute, Chiba³, Gifu University⁴, Chiba Pref⁵)
- P82 The new problem derived from the trapping oriented raccoon control programs in Hokkaido
Abe Go(Hokkaido Univ. faculty of letters)
- P83 Fecal DNA analysis for individual identification of the American mink in the Kushiro wetland
Yukari SHIMATANI, Tsuyoshi TAKESHITA, Shirou TATSUZAWA, Toru IKEDA, Ryuichi MASUDA (Hokkaido Univ.)

Poster Presentations

- P84 The population structure of invasive species American Mink in Nagano
Yuko Fukue¹, Emiko Ashida², Ryousuke Kishimoto³(Wildlife Community Institute¹, Kokubu, Kumamoto², Nagano Environmental Conservation Research Institute³)
- P85 Food habits of wild dogs in Oku-Nikko.
Otani Michio, Koganesawa Masaaki(Utsunomiya University)
- P86 Food habits of the medium-sized Carnivores
Naoko Kurose(Department of Biological Sciences, Faculty of Science, Kanagawa University)
- P87 Mammal fauna in Fukui plain
Yukako Naitou¹, So Ishida²(Fukui City Museum of Natural History¹, Osaka Museum of Natural History²)
- P88 Habitat use of Japanese sable, *Martes zibellina brachyura*, around the reforestation area in Shiretoko National Park.
MURAKAMI, TAKAHIRO(Shiretoko Museum)
- P89 Application of the Commercial Location Information Service on Animal Tracking
Midori Saeki¹, Masayuki Saito², Youichi Sonoda³(NARC¹, NARC·YNU², NILIM³)
- P90 The abnormal dentition of Japanese marten
Hayatoshi Hirata¹, Tetsuji Hosoda², Masao Amano¹(Teikyo Univ¹, Taikyu HS²)
- P91 Genetic variations of the Japanese martens inferred from the nuclear and mitochondrial DNA
Tetsuji Hosoda¹, Jun J. Sato²(Wakayama Taikyu High School¹, Department of Biotechnology, Fukuyama University²)
- P92 Cranial variation of insular populations of *Mustela sibirica*
Satoshi Suzuki¹, Masaharu Motokawa²(Dep. Zool., Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ.¹, The Kyoto Univ. Museum²)
- P93 To which adult males are yearlings in proximity?
Matsuoka Eriko(PRI(Kyoto univ.))
- P94 Sleeping site selection by wild Japanese macaques (*Macaca fuscata*) in northern Japan: importance of non-predatory factors
Yamato Tsuji(Primate Research Institute, Kyoto University)
- P95 Estimating the abundance and distribution of Japanese monkeys by track counts in the snow.
ENARI, Hiroto(Department of Ecology and Social Behavior, Primates Research Institute, Kyoto University)

Poster Presentations

- P96 Forest edge use by crop-raiding Japanese macaques
Aya YAMADA¹, Yasuyuki MUROYAMA² (PRI, Kyoto University¹, WMRC, University of Hyogo²)
- P97 Winter habitat utilization of Japanese monkeys in cool-temperate forests
Haruka Sakamaki (The United Graduate School of Agricultural Sciences, Iwate University)
- P98 Polymorphism in Y-linked STR gene of hamadryas baboons
Akihiro YAMANE (Kitakyusyu Museum of Natural History & Human History)
- P99 Craniofacial variation and dietary adaptation in colobine monkeys: 3D geometric morphometric analysis
KOYABU Daisuke¹, ENDO Hideki² (The University of Tokyo, JSPS¹, The University Museum, The University of Tokyo²)
- P100 CT imaging analyses of the skeleton of pes in Primates
Motoki Sasaki¹, Hideki Endo², Motoharu Oishi³, Kazutaka Yamada⁴, Nobuo Kitamura¹ (Lab. Vet. Anatomy, Obihiro Univ.¹, Univ. Museum, Tokyo Univ.², Lab. Vet. Anatomy, Azabu Univ.³, Lab. Clinical Radiology, Obihiro Univ.⁴)
- P101 Genetic composition of Siamang (*Symphalangus syndactylus*) in Sumatra inferred from microsatellite analysis
Azusa Hayano¹, Dyah Perwitasari-Farajallah², Hery Wjayanto³, Takako Miyabe⁴, Alan Mootnick⁵, Diah Iskandariati², Joko Pamungkas², Hirohisa Hirai⁴ (Dept. Zoology, Kyoto Univ.¹, Bogor Agricultural Univ.², Univ. Gadjah Mada³, PRI, Kyoto Univ.⁴, Gibbon Conserv. Centr.⁵)
- P102 Correlation of Distribution of Natural Mineral-Licks with Orangutan in Sabah, Borneo
Hisashi Matsubayashi¹, Nobuhiko Wakamatu¹, Etuko Nakazono¹, Lagan P.², Sukor J.R.A.³, Masaaki Takyu¹ (Tokyo University of Agriculture¹, Sabah Forestry Department², Sabah Wildlife Department³)
- P103 Sika deer from Goto Islands with a new karyotype involving the Robertsonian fusion
Masashi HARADA¹, Akiro ANDO² (Osaka City Univ.¹, Shimane Pref. Univ.²)
- P104 Seasonal changes of sex steroid hormone synthesis and its receptor expression in the testis of Sika deer (*Cervus nippon*)
Daisuke Hayakawa^{1,2}, Motoki Sasaki^{1,2}, Masatsugu Suzuki³, Hiromasa Igota⁴, Toshio Tsubota⁵, Koichi Kaji⁶, Hiroshi Hata⁷, Seiji Kondo⁷, Akio Miyamoto⁸, Nobuo Kitamura^{1,2} (Division of Veterinary Anatomy, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine¹, United Graduate School of Veterinary Science, Gifu University², Laboratory of Zoo and Wildlife Medicine, Gifu University³, Department of Biosphere and Environment Sciences, Rakuno Gakuen University⁴, Laboratory of Wildlife Biology, Graduate School of Veterinary Medicine, Hokkaido University⁵, Laboratory of Wildlife Conservation, Tokyo University of Agriculture and Technology⁶, Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University⁷, Graduate School of Animal and Food Hygiene, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine⁸.)

Poster Presentations

- P105 Pellet count method applied to sika deer, *Cervus nippon*, of known density in large-scale enclosures.
Shin-Ichi Horino(FFPRI Tohoku)
- P106 The pasture utilization of sika deer in winter influences feeding habits and anatomical characters of them
Toshikatsu Kamei¹, Kennichi Takeda², Shigeyuki Izumiya², Kho Katsuki², Kouji Ohshima² (The Interdisciplinary Graduate School of Science and Technology of the Shinshu University¹, Shinshu University of Agriculture²)
- P107 The land use of Sika deer(*Cervus nippon*) in the mountane area of Middle Nagano prefecture
Mitsuhiro Okada¹, Yasuhiro Koyama¹, Iku Tooyama², Tosikatu Kamei², Kenichi Takeda², Masato Yamanouchi¹(Nagano pref. For.Res.Ctr.¹, Faculty of Agriculture,Shinshyu Univ.²)
- P108 Light census of sika deer in Kirigamine, Nagano
Ryosuke Kishimoto (Nagano Environmental Conservation Research Institute)
- P109 The impact of sika deer browsing on understory vegetation of broad-leaved deciduous forests in Hyogo Prefecture
Yasutaka Kishimoto¹, Daisuke Fujiki², Hiroshi Sakata² (Wildlife Management Reserch Center, Hyogo¹, University of Hyogo²)
- P110 Evaluation of photographic index by automatic cameras for the sika deer population density in Hokkaido
Toshio KURUMADA¹, Yoshihiro INATOMI¹, Masaaki TOMIZAWA², Hifumi TSURUGA¹, Nobuhiro AKASHI³, Kazuhiro MINAMINO³, Hirofumi HIRAKAWA⁴ (Hokkaido Institute of Environmental Sciences¹, Hidaka Subprefectural Office, Hokkaido Government², Hokkaido Forestry Research Institute³, Forestry and Forest Products Research Institute⁴)
- P111 Effects of salt supplement on population estimation of sika deer by the camera trap method
Koganezawa Masaaki¹, Hazeki Megumi², Inomata Sue²(Utsunomiya University Forests¹, Utsunomiya University, Wildlife Management²)
- P112 Determination of Oze s sika deer wintering area by mtDNA analysis
Miki Natori, Emiko Fukui, Mina Horii, Hiromichi Matumoto, Midori Yoshizawa, Koganezawa Masaaki (Utsunomiya University)
- P113 Evaluation of reproductive status of sika deer in Awajishima, Hyogo prefecture
Erina Saita¹, Yoshiki Morimitsu², Satomi Yonezawa¹, Mayumi Yokoyama² (Wildlife Management Recerch Center, Hyogo¹, Institute of Natural and Environmental Sciences University of Hyogo/ Wildlife Management Recerch Center, Hyogo²)
- P114 Occurrence of deer barking damage to young and middle-aged sugi and hinoki trees, and characteristics of feeding trace
Akira Sano (Mie Pre. For. Res. Inst.)

Poster Presentations

- P115 Do female sika deer choose mate based on the social ranks of males
Naoko HIGUCHI¹, Nobumasa OHNISHI², Masato MINAMI³(Osaka-city univ.¹, Eco-Planning Reserch Co., Ltd², Wildlife Community Institute³)
- P116 The primary study on ecology of sika deer in National Park of Chichibutamakai
Akiko Mizoguchi¹, Zhaowen Jiang¹, Shinji Yamane², Toshihiro Hazumi¹, Misao Okano¹, Shigeharu Aoki²(Wildlife Management Office,Inc.¹, The Bureau of Waterworks, Tokyo Metropolitan²)
- P117 Fetal age estimation of Hokkaido sika deer (*Cervus nippon yesoensis*) in early pregnancy
Yojiro Yanagawa¹, Yukiko Matsuura², Masatsugu Suzuki³, Seiji Katagiri¹, Yoshiyuki Takahashi¹, Shinichi Saga⁴, Hideto Okuyama⁴, Daisuke Fukui⁴, Gen Bandou⁴, Toshio Tsubota¹(Graduate school of veterinary medicine, Hokkaido Univ.¹, FSC for Northern Biosphere, Hokkaido Univ.², Faculty of Applied Biol. Sci., Gifu Univ.³, Asahiyama Zoological Park⁴)
- P118 Present status and tendency of deer-train accidents in Hokkaido
Takane Shikano, Misako Noro, Humihiro Hara (Hokkaido Development Engineering Center)
- P119 Can vegetation be recovered by population control of deer?
Nobuhiro Akashi(Hokkaido For. Res. Inst.)
- P120 Investigating the limitations of sport hunting in the control of wild deer in Scotland and Hokkaido
Edward Dyson¹, Toshio Kurumada², Hiroyuki Uno², Katsumi Tamada², Takashi Saitoh¹(Hokkaido University, Field Science Center for the Northern Biosphere¹, Hokkaido Institute of Environmental Sciences²)
- P121 Extracting DNA from mounted specimens and building a database of COI gene.
Nozomi Kurihara¹, Shin-ichiro Kawada¹, Tadasu K. Yamada¹, Yuko Tajima¹, Hiroko Nagaoka¹, Tomoko Ogo¹, Randy Harris²(Department of Zoology, National Museum of Nature and Science¹, W. T. Yoshimoto Foundation²)
- P122 New facilities for Gray wolves (*Canis lupus*) and Sika Deer (*Cervus nippon*) at Sapporo Maruyama Zoo
Tsuyoshi Inoue^{1,2}, Yasuo Kuwahara^{1,3}, Takeshi Mukai⁴, Hiroshi Ueno⁴, Ryo Yumiyama⁴(JWA Committee¹, Maruyama zoo citizen meeting², Howlin'Ks NS³, Maruyama zoo⁴)
- P123 Wildlife management zoning system in Japan
Atsushi Takayanagi(Kyoto Univ.)
- P124 Morphological characteristics of sika deer in Yakushima Island.
Chisato TERADA, Shirow TATSUZAWA, Takashi SAITOH(Hokkaido University)
- P125 Estimating deer population density using pellet group count: is it necessary to calculate fecal decomposition rate?
Ryosuke Koda¹, Riyoun Tsujino², Noboru Fujita¹(CER¹,RIHN²)

Poster Presentations

- P126 Estimation of rice field damage risk by wild boars in Chiba prefecture
Masayuki SAITO^{1,2}, Hiroshi MOMOSE², Seiji UEMATSU³ (National Agricultural Research Center¹, Yokohama National University², Chiba Prefectural Agriculture and Forestry Research Center³)
- P127 Grazing damage on temperate grassland by wild boar and pasture renovation
Hironori Ueda, Yoshitaka Takahashi, Masateru Inoue(WeNARC)
- P128 Hybridization of introduced domestic pigs “inobuta” with native Japanese wild boar in Awajishima ,Hyogo prefecture.
Yoshiki Morimitsu¹, Mayumi Yokoyama¹, Erina Saita²(Univ. Hyogo¹, Wildlife Management Research Center,Hyogo²)
- P129 Effectiveness of newly-designed electric fences in reducing crop damage by medium and large mammals
Takeshi Honda¹, Yoshiki Miyagawa¹, Ueda Hironori², Inoue Masateru² (Yamanashi Prefecture Agricultural Research Center¹, National Agricultural Research Center for Western Region²)
- P130 Population dynamics of Japanese serow using harvest data in Gifu
Chizuru Yayota¹, Takahiro Miura², Kunihiko Tokida², Masatsugu Suzuki¹(Gifu Univ.¹, JWRC²)
- P131 DNA proves the uniqueness of the Japanese Serow from the Shikoku Island.
Hideo OKUMURA¹, Yasuo NAKANISHI²(Shikoku Res. Cent. ,FFPRI¹, Wanpaku Kochi Animal Land²)
- P132 Results and perspectives of the hair trapping on Asiatic black bear in Gifu prefecture, Japan
Mami Kondo¹, Hajime Matsui², Kiyoshi Yamauchi³, Masae Saito⁴, Tiduru Yayota¹, Shouki Yamazaki¹, Keizou Tokunaga¹, Makoto Asano¹, Masatsugu Suzuki¹(Gifu University¹, Teikoku Engineering Consultants², Reseach institute for Environmental Sciences and Public Health of Iwate Prefecture³, Iwate University⁴)
- P133 Food habits for habitat evaluation of Japanese black bear(*Ursus thibetanus* in Shikoku)
Toru Itoh¹, Bungo Kanazawa², Hidenori Kusakari³, Shingo Isikawa¹(Graduate school of Integrated Arts and Sciences, Kochi Univ.¹, Shikoku Institute of Natural History², WWF Japan³)
- P134 Stomach contents of Asiatic black bears in Tottori, Japan
Shinsuke Koike¹, Chinatsu Kozakai², Ami Nakajima³, Yui Nemoto³, Nobusuke Nishi⁴ (Tokyo Univ. of Agri. and Tech.¹, Tokyo Univ. of Agri. and Tech.², Tokyo Univ. of Agri. and Tech.³, Tottori Pre.⁴)
- P135 Development of new hair sampling device for Asiatic black bear
Kiyoshi YAMAUCHI¹, Masae SAITO², Tomoaki OYAMADA¹(Reserch Institute for Environmental Science and Health of Iwate Prefecture¹, Faculty fo Agriculture, Iwate University²)
- P136 SEASONAL HOME RANGES AND LAND USE OF ASIATIC BLACK BEARS (*Ursus thibetanus*) LIVING NEAR HUMAN HABITATIONS
Hirokazu Takahashi, Koji Harashina, Toshiki Aoi (Iwate University)

Poster Presentations

- P137 Notes on courtship behavior of Japanese black bears in Ashio Mts., Tochigi Prefecture. When does the bear mate?
Chinatsu Kozakai¹, Yui Nemoto¹, Shinsuke Koike¹, Koji Yamazaki², Koichi Kaji¹ (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology¹, Ibrakaki Nature Museum²)
- P138 Causes of a record number killings of Asiatic black bears in Nagano characterized by stable isotope analysis and age estimates
Rumiko Nakashita¹, Ryosuke Kishimoto², Yaeko Suzuki¹, Shigeyuki Izumiyama³, Mitsuaki Goto⁴, Muneoki Yoh⁵, Hidetaka Hayashi⁴ (Tokyo Metropolitan University¹, Nagano Prefecture², Shinshu University³, Shinshu Black Bear Research Group⁴, Tokyo University of Agriculture and Technology⁵)
- P139 The Geographical Variations of Japanese Black Bear on the Form of the Tooth
Satoshi Kamihori (EISUGAKKAN senior high school)
- P140 Analysis of observation of Asiatic black bear in Oze National Park
Yukihiko Hashimoto, Tomohito Anrui (Oze Preservation Foundation)
- P141 The actual tree bark damage caused by Asian Black Bears on artificial stands that confirmed for the first time in Western Shimane Prefecture
Seigo Sawada¹, Hiroki Kanamori¹, Yukihiko Takesita¹, Wataru Yamakawa², Hikaru Fujita³ (Shimane Prefectural Mountainous Region Research Center¹, Tottori Prefecture², Japan Wildlife Research Center³)
- P142 A trial of the brown bear population estimate using hair-snagging method on Oshima Peninsula, Hokkaido
Hifumi Tsuruga¹, Kohji Yamamura², Masaaki Tomizawa³ (HIES¹, NIAES², Hokkaido gov.³)
- P143 Estimating a switable microsatellite marker set for individual identification and parentage test of brown bear.
Tetsuji Itoh¹, Yoshikazu Sato², Tsutomu Mano³ (Graduate school of Bioresource sciences, Nihon Univ.¹, College of Bioresource sciences, Nihon Univ.², Hokkaido Institute of Environmental Sciences³)
- P144 Polymorphisms of MHC class genes in the brown bear and other ursid species.
Naoki Goda¹, Tsutomu Mano², Ryuichi Masuda¹⁻³ (Graduate school of science, Hokkaido Univ.¹, Hokkaido Institute of Environmental Sciences², Creative Research Initiative "sousei", Hokkaido Univ.³)

Poster Presentations

- P145 Frugivory of Hokkaido brown bears.
Ohnuki M.¹, Imai K.², Kobayashi K.¹, Sato Y.² (Graduate School of Bioresource sciences, Nihon Univ.¹, College of Bioresource sciences, Nihon University²)
- P146 Invasion of brown bears to the crop fields and the effect of nuisance control estimated by DNA genotyping
Yamada S.¹, Horiguchi M.¹, Sato Y.¹, Itoh T.¹, Kobayashi K.¹, Kiyose U.²(Forest Zoology, Nihon Univ.¹, Kushiro Campus, Hokkaido University of Education²)
- P147 Feeding habitat of brown bears in Hokkaido Island Japan: its evaluation by quantitative and qualitative feces analyses
Miki Matsuhashi¹, Tatu Oshida¹, Hifumi Tsuruga², Masato Kawai¹ (Obihiro Univ.¹, HIES²)
- P148 Feeding response of brown bears to change of the number of deer controlled
Kyoko Kobayashi¹, Yoshikazu Sato² (Graduate School of Bioresource Sciences, Nihon Univ.¹, College of Bioresource Sciences, Nihon Univ.²)
- P149 Long-term changes of the circumstances and brown bear reaction during encounter with human beings in the Shiretoko Peninsula, Hokkaido.
Masami Yamanaka¹, Hideaki Okada², Masao Kohira¹, Shinsuke Kasai¹ (Shiretoko Nature Foundation¹, Shari Town Office²)
- P150 SEASONAL CHANGE IN NUMBER AND MOVEMENT PATTERN OF SPOTTED SEALS (*Phoca largha*) MIGRATING AROUND THE SEA OF JAPAN
KOBAYASHI Mari^{1,4}, KOUNO Yasuo², NISHINA Mio¹, Fujimoto Yasuhiro³, Kato Kikuo⁴(Tokyo University of Agriculture¹, Free investigator², Hokkaido University³, Marine Wildlife Center of Japan⁴)
- P151 Haulout patterns of Kuril Harbor seals (*Phoca vitulina stejnegeri*) in Akkeshi Daikoku Island
Koji HINA¹, Mari KOBAYASHI², Masatugu SUZUKI³, Toshio TSUBOTA¹ (Hokkaido University¹, Tokyo University of Agriculture², Gihu University³)
- P152 Genetic Variation of Kuril Harbor Seals(*Phoca vitulina stejnegeri*) and spotted Seals(*Phoca largha*) in Hokkaido
Emiko Nakagawa¹, Mari Kobayashi², Masatsugu Suzuki³, Toshio Tsubota¹ (Hokkaido University¹, Tokyo University of Agriculture², Gihu University³)
- P153 Changes in the haul-out pattern of steller sea lions at Benten rock off northern Hokkaido
Akihiko Wada¹, Kaoru Hattori²(HWFES¹, HNF²)

Poster Presentations

- P154 The nasal bone of the Florida manatee
 HOSON Osamu¹, KAWADA Shin-ichiro², ODA Sen-ichi¹(Graduate school of Bio-agricultural science, Nagoya university¹, Department of Zoology, National Museum of Nature and Science²)
- P155 Estimation of distribution and school density of northern form short-finned pilot whale using sighting data in 1983-2007
 YU KANAJI, HIROSHI OKAMURA, TOMIO MIYASHITA(National Research Institute of Far Seas Fisheries, Fisheries Research Agency)
- P156 Diving behavior of a sperm whale in the Nemuro Strait
 Masao Amano¹, Kagari Aoki², Hal Sato³, Aya Kourogi¹, Nobuyuki Miyazaki²(Teikyo University of Science & Technology¹, Ocean Research Institute, The University of Tokyo², Sea Life Watch³)